

西体育会館大体育室天井改修その他工事

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	表紙・図面リスト	-	S-01	鉄骨標準図	-
A-02	改修工事特記仕様書1	-	S-02	キャットウォーク伏図、軸組図、部材リスト	1:150
A-03	改修工事特記仕様書2	-	S-03	鉄骨詳細図	1:10-20
A-04	改修工事特記仕様書3	-			
A-05	案内図・工事概要・工事区分・仕上表	-			
A-06	配置図	1:400	M-01	大体育室ダクト平面図(新設)・機器表(新設)	1:150
A-07	1階平面図・放送室展開図	1:200-100	M-02	大体育室ダクト平面図(撤去)・機器表(撤去)	1:150
A-08	2階平面図	1:200-50			
A-09	R階平面図・短計図・建具表	1:200			
A-10	天井内キャットウォーク平面図(改修)	1:150			
A-11	天井伏図(既存)	1:150	K-01	外部仮設計画図(参考)	1:400
A-12	天井伏図(改修)	1:150	K-02	内部仮設計画図(参考)	1:200
A-13	天井下地材伏図(改修)	1:150			
A-14	断面図(既存)	1:150			
A-15	断面図・各種膜納まり図(改修)	1:150-20-5			
A-16	吊物機構(バトン)フドウ棚参考図	1:100			
A-17	吊物機構(ハト)機器滑車配置図/機器姿図	1:100			

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2年 12月

設計名称

西体育会館大体育室天井改修その他工事

図面名称

表紙・図面リスト

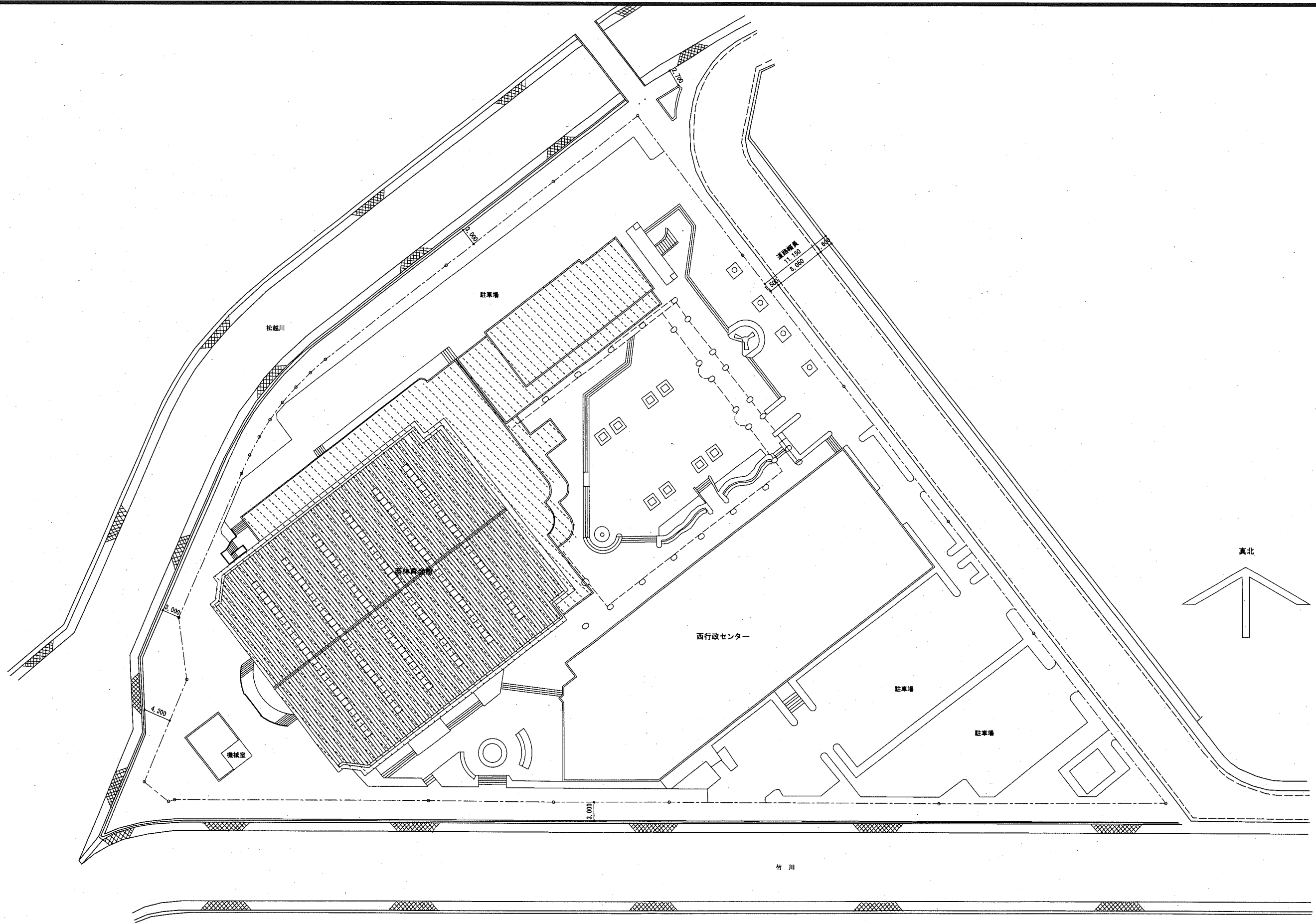
縮尺

縮尺 1: -

A-01

特記仕様書		項目		特記事項		項目		特記事項		項目		特記事項																																																																																																												
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>① 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>② 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③ 特記事項に○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は○印の付した事項を採用する。</p> <p>④ ○印と○印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通大臣官庁長官官制部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版</p> <p>○国土交通大臣官庁長官官制部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版</p> <p>○国土交通大臣官庁長官官制部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成31年版</p> <p>4. その他事項</p> <p>・各項目欄の番号(例:1.4○○○)は標準仕様書の番号(家番号を除く)に照合する</p> <p>・各項目欄の番号(例:表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする</p> <p>・各項目欄の番号(例:●公○家***、公***、●公***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する</p> <p>・各項目欄の番号(例:1.*○○○)は標準仕様書の番号(家番号を除く)に該当しない項目とする</p>		<p>3.2 仮設間仕切り</p> <p>仮設間仕切り: ・無し・有り</p> <p>設置箇所: ・図示</p> <p>種別: ・A種・B種・C種</p> <p>仮設扉: ・不要・必要【設置箇所: ・図示・任意の場所】</p> <p>仮設扉の種別: ・鋼製・木製・図示・施工者にて適切な材料を選択</p> <p>監督員事務所設置: ・必要 ○不要</p> <p>○監督員事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室()m²を含む)</p> <p>・()号に会議室()m²を加えた規模</p> <p>・専用電話・兼用FAX・冷暖房機・机・椅子・書櫃・検査用具</p> <p>・その他:</p> <p>受注者事務所の設置: ・必要 ○不要 (1号幼児室 or 役員室 使用可)</p> <p>○受注者事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室()m²を含む)</p> <p>・()号に会議室()m²を加えた規模</p> <p>・専用電話・兼用FAX・冷暖房機・机・椅子・書櫃・検査用具</p> <p>・その他:</p> <p>構内既存の用水施設: ・利用できない ○利用できる(・有償・無償)</p> <p>○施設管理者と協議</p> <p>構内既存の電力施設: ・利用できない ○利用できる(・有償・無償)</p> <p>○動力以外利用できる(・有償・無償)</p> <p>○施設管理者と協議</p>		<p>4.4 形状及び仕上げ</p> <p>鋼板の厚さ: ※表5.4.2による・図示</p> <p>鋼板の厚さ(NP950mm, H2, 100mmの場合): ・図示</p> <p>防音ドアセット、サッシの適用: ・適用・適用しない・図示</p> <p>遮音性の等級: ・T-1・T-2・T-3・T-4</p> <p>ガラスの大きさ: ※製造所仕様による・図示</p> <p>5. 鋼製軽量建具</p> <p>性能及び構造: ※JIS規格による</p> <p>遮音気密型ドアセットの適用: ・適用・適用しない・図示</p> <p>気密性: ・A-1・A-2 ※A-3</p> <p>水密性: ・W-1</p> <p>鋼板の種別: ・ビニル被覆鋼板・鋼板・スチール鋼板・図示</p> <p>召合せ、縦小口色板等の材質: ※鋼板・スチール鋼板・7Mn鋼合金押出型材</p> <p>ステンレス鋼板の材質: ※SUS304, 430JIL, 430・SUS304・SUS430</p> <p>6. ステンレス製建具</p> <p>性能及び構造: ※JIS規格による</p> <p>ステンレス鋼板の材質: ※SUS304, 430JIL, 430・SUS304・SUS430</p> <p>表面仕上げ: ※HL・鏡面・P7()</p> <p>曲げ加工: ・普通曲げ・角出し曲げ</p> <p>7. 建具用金物</p> <p>適用範囲: ・建具製作所仕様以外の金物(</p> <p>金物の種類、材質: ※表5.7.1による</p> <p>軸吊り金物: ・自閉設置付き・自閉設置なし</p> <p>ドアクローザのディレクタードアアクション(選送品)機能の適用: ・適用・適用しない</p> <p>戸当り: ・おとり止め(フック)付き・おとり止め(フック)付きなし</p> <p>鋼製建具の寸法: ※表5.7.2による</p> <p>樹脂製建具の寸法: ※表5.7.3による</p> <p>握玉、レバーハンドル等の取付位置: ・FL+900・FL+950・FL+1,000</p> <p>クレセント類の取付位置: ・FL+900~FL+1,500迄</p> <p>7.3 取付け施工</p> <p>握玉、レバーハンドル等の取付位置: ・FL+900・FL+950・FL+1,000</p> <p>クレセント類の取付位置: ・FL+900~FL+1,500迄</p> <p>7.4 量</p> <p>マスターキー: ・製作する・製作しない</p> <p>・マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。</p> <p>マスターキーの系統: ・系統</p> <p>指定建物等の防犯性能の適用: ・する・しない</p> <p>指定建物等とは、建物の外部出入口に用いるシールド錠・シールド錠/リフト錠が該当</p> <p>耐ピッキング性能: ・5分未満・5分以上 ※10分以上</p> <p>耐穴貫し性能: ・5分未満・5分以上 ※10分以上</p> <p>耐サターン回し性能: ・なし(5分未満) ※あり(5分以上)</p> <p>耐カム送り解錠性能: ・なし(5分未満) ※あり(5分以上)</p> <p>耐こじ破り性能: ・なし(5分未満) ※あり(5分以上)</p> <p>出荷時の子鍵本数: ※3本・6本</p> <p>鍵筒の適用: ・必要・不必要</p> <p>8. 自動ドア開閉装置</p> <p>スライディングドアの開閉性能: ※表5.8.1による・図示</p> <p>多機能トイレ出入口引き戸の開閉性能: ※表5.8.2による・図示</p> <p>換気装置の性能: ※表5.8.3による・図示</p> <p>戸の開閉方法: ・図示</p> <p>センサーの種類: ・マイク型・光線型・熱線型・音波型・光電型</p> <p>・超音波型・超音波型・超音波型・多機能併用型</p> <p>凍結防止装置: ・有・無</p> <p>9. 自閉式上り引戸装置</p> <p>自閉式上り引戸装置の性能: ※表5.9.1による</p> <p>10. 重量シャッター</p> <p>シャッターの種類: ・図示・管理用シャッター・外壁用防火シャッター</p> <p>・屋内用防火シャッター・防煙シャッター</p> <p>耐風圧性能: ・50・80・120</p> <p>開閉性能: ※上部電動式(手動併用)・上部手動式</p> <p>シャッターケース: ・図示 ※設ける・設けない</p> <p>保護装置の設置: ・図示</p> <p>障害物感知装置の設置: ・図示</p> <p>危険防止機構の種別: ・自動閉鎖型・可動座金式・図示</p> <p>11. 軽量シャッター</p> <p>開閉形式: ※手動式・上部電動式(手動併用)</p> <p>〈開閉形式〉: ※手動式・上部電動式(手動併用)</p> <p>耐風圧性能: ・50・80・120</p> <p>11.2 形状及び構造</p> <p>閉鎖形式: ※手動式・上部電動式(手動併用)</p> <p>〈閉鎖形式〉: ※手動式・上部電動式(手動併用)</p> <p>耐風圧性能: ・50・80・120</p> <p>11.3 材料</p> <p>スラットの材質: ※建築用亜鉛めっき鋼板・スチール鋼板</p> <p>※建築用亜鉛めっき鋼板・57Mn鋼合金めっき鋼板・7Mn鋼合金押出型材</p> <p>〈パイプの材質〉: ・スチール・ステンレス</p> <p>〈パイプ径〉: ・図示・13mm・16mm・19mm</p> <p>〈パイプ間隔〉: ・図示・70mm</p> <p>〈格子間隔〉: ・図示・500mm</p> <p>11.4 形状及び仕上げ</p> <p>スラットの形状: ・レクタングル形・オバルレクタングル形</p>		<p>5. 2.2 形状及び構造</p> <p>1.2 オーバーヘッドドア</p> <p>セクション材料による区別: ・図示・下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区別</th> <th>開閉方式による区別</th> <th>収納形式による区別</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>・スチール</td> <td>・バラス式</td> <td>・スチール形</td> <td>・鋼製</td> </tr> <tr> <td>・7Mn鋼合金</td> <td>・ファース式</td> <td>・ロード形</td> <td>・ステンレス</td> </tr> <tr> <td>・アルミ</td> <td>・電動式</td> <td>・バラス形</td> <td>・ステンレス</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・バラス形</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧性能: ・50・75・100・125</p> <p>ガイドレールの材質: ※建築用亜鉛めっき鋼板・スチール鋼板</p> <p>1.3. ガラス</p> <p>ガラスの種類: ・建具表による</p> <p>ガラス留め材</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>種類・材質</th> </tr> <tr> <td>・7Mn鋼合金</td> <td>・シリコンゲル ※ゲル付(1種・2種)</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>※シリコンゲル付・バネ付(1種・2種)</td> </tr> <tr> <td>・スチール</td> <td>※シリコンゲル付・バネ付(1種・2種)</td> </tr> <tr> <td>・木製</td> <td>※シリコンゲル付・バネ付(木製用)</td> </tr> </table> <p>13.3 ガラスの寸法、形状等</p> <p>ガラス留の大きさ: ※製造所仕様による・図示</p> <p>熱線反射ガラスの映像調整: ・行う・行わない</p> <p>表面形状: ・図示・グリーン・梨地・ハス</p> <p>寸法、厚み: ・図示・190x190x95・145x145x95</p> <p>層間金属網: ・図示・7Mn鋼合金・スチール製・スチール製</p> <p>補強剤: ・図示</p> <p>化粧目地の色: ・白・グレー・黒</p> <p>シーリング材: ・シリコン系・ウレタン系・シリコン系</p> <p>金属製化粧カバー: ・図示</p> <p>風圧力に対応した工法:</p> <p>目地幅: ※標準仕様書5.13.5(2)(a)・図示</p> <p>伸縮調整目地の位置: ※標準仕様書5.13.5(2)(b)による・図示</p> <p>1. 共通事項</p> <p>既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲: ※壁厚程度・図示</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲: ※両側600mm程度・図示</p> <p>天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲: ※既存のまま ○図示</p> <p>既存部分の撤去工法:</p> <p>○適用する【・標準仕様書6.2・標準仕様書6.3・標準仕様書6.4】 ○図示</p> <p>新設下地の工法:</p> <p>○適用する【・標準仕様書6.5・標準仕様書6.6・標準仕様書6.7】 ○図示</p> <p>仕上げの工法: ※該当項の有無により適用する・図示</p> <p>2. 既存床の撤去並びに下地補修</p> <p>合成樹脂張り床材の除去: ・機械的除去工法・目貫工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲: ・影響範囲全て・図示</p> <p>3. 既存壁の撤去並びに下地補修</p> <p>コンクリート間仕切り壁等の撤去に伴う構造体の補修: ※行う・既存のまま</p> <p>・モルタル塗り(改修標準仕様書4.9.1による)・図示</p> <p>5. 木下地等</p> <p>○見え掛り面の表面仕上げの程度(表6.5.1;機械加工): ・下表による・図示</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用箇所</th> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <td>・開口部側縁</td> <td>・建具枠</td> <td>・笠木</td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td>・ブラインドボックス</td> <td>・ボックスボックス</td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td>・筋り柱</td> <td>・筋り柱</td> <td>・筋り柱</td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td>・板</td> <td></td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> <tr> <td>・梯子</td> <td></td> <td></td> <td>・A種・B種・C種</td> </tr> </table> <p>○見え掛り面の表面仕上げの程度(表6.5.2;手加工): ・下表による・図示</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用箇所</th> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <td>・開口部側縁</td> <td>・建具枠</td> <td>・笠木</td> <td>・H-A種・H-B種・H-C種</td> </tr> <tr> <td>・ブラインドボックス</td> <td>・ボックスボックス</td> <td></td> <td>・H-A種・H-B種・H-C種</td> </tr> <tr> <td>・筋り柱</td> <td>・筋り柱</td> <td>・筋り柱</td> <td>・H-A種・H-B種・H-C種</td> </tr> <tr> <td>・板</td> <td></td> <td></td> <td>・H-A種・H-B種・H-C種</td> </tr> <tr> <td>・梯子</td> <td></td> <td></td> <td>・H-A種・H-B種・H-C種</td> </tr> </table> <p>○一般事項</p> <p>木材の含水率: ※A種・B種</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量: ※F☆☆☆☆・図示</p> <p>○製材</p> <p>◇JASによる下地用針葉樹製材: ・下表による(寸法は図示)・図示</p> <table border="1"> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防虫防蟻処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>全般</td> <td>杉</td> <td>1級</td> <td>SD15</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※2級</td> <td>SD20</td> <td>サグ</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>D15</td> <td>プレナ</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>D20</td> <td>プレナ</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		セクション材料による区別	開閉方式による区別	収納形式による区別	ガイドレールの材料	・スチール	・バラス式	・スチール形	・鋼製	・7Mn鋼合金	・ファース式	・ロード形	・ステンレス	・アルミ	・電動式	・バラス形	・ステンレス			・バラス形		建具の種類	種類・材質	・7Mn鋼合金	・シリコンゲル ※ゲル付(1種・2種)	・鋼製	※シリコンゲル付・バネ付(1種・2種)	・スチール	※シリコンゲル付・バネ付(1種・2種)	・木製	※シリコンゲル付・バネ付(木製用)	適用箇所		種類		・開口部側縁	・建具枠	・笠木	・A種・B種・C種	・ブラインドボックス	・ボックスボックス		・A種・B種・C種	・筋り柱	・筋り柱	・筋り柱	・A種・B種・C種	・板			・A種・B種・C種	・梯子			・A種・B種・C種	適用箇所		種類		・開口部側縁	・建具枠	・笠木	・H-A種・H-B種・H-C種	・ブラインドボックス	・ボックスボックス		・H-A種・H-B種・H-C種	・筋り柱	・筋り柱	・筋り柱	・H-A種・H-B種・H-C種	・板			・H-A種・H-B種・H-C種	・梯子			・H-A種・H-B種・H-C種	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防虫防蟻処理	備考	全般	杉	1級	SD15	サグ	なし			杉	※2級	SD20	サグ	なし				D15	プレナ	なし					D20	プレナ	なし		
セクション材料による区別	開閉方式による区別	収納形式による区別	ガイドレールの材料																																																																																																																					
・スチール	・バラス式	・スチール形	・鋼製																																																																																																																					
・7Mn鋼合金	・ファース式	・ロード形	・ステンレス																																																																																																																					
・アルミ	・電動式	・バラス形	・ステンレス																																																																																																																					
		・バラス形																																																																																																																						
建具の種類	種類・材質																																																																																																																							
・7Mn鋼合金	・シリコンゲル ※ゲル付(1種・2種)																																																																																																																							
・鋼製	※シリコンゲル付・バネ付(1種・2種)																																																																																																																							
・スチール	※シリコンゲル付・バネ付(1種・2種)																																																																																																																							
・木製	※シリコンゲル付・バネ付(木製用)																																																																																																																							
適用箇所		種類																																																																																																																						
・開口部側縁	・建具枠	・笠木	・A種・B種・C種																																																																																																																					
・ブラインドボックス	・ボックスボックス		・A種・B種・C種																																																																																																																					
・筋り柱	・筋り柱	・筋り柱	・A種・B種・C種																																																																																																																					
・板			・A種・B種・C種																																																																																																																					
・梯子			・A種・B種・C種																																																																																																																					
適用箇所		種類																																																																																																																						
・開口部側縁	・建具枠	・笠木	・H-A種・H-B種・H-C種																																																																																																																					
・ブラインドボックス	・ボックスボックス		・H-A種・H-B種・H-C種																																																																																																																					
・筋り柱	・筋り柱	・筋り柱	・H-A種・H-B種・H-C種																																																																																																																					
・板			・H-A種・H-B種・H-C種																																																																																																																					
・梯子			・H-A種・H-B種・H-C種																																																																																																																					
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防虫防蟻処理	備考																																																																																																																		
全般	杉	1級	SD15	サグ	なし																																																																																																																			
	杉	※2級	SD20	サグ	なし																																																																																																																			
		D15	プレナ	なし																																																																																																																				
		D20	プレナ	なし																																																																																																																				
<p>1. 工事実績情報登録</p> <p>1.1 建築基準法の風圧</p> <p>・積雪に関する規定</p> <p>3.3 電気保安技術者</p> <p>3.4 施工条件</p> <p>3.12 発生材の処理等</p> <p>5.2 施工数量調査</p> <p>5.3 調査のための破壊部分の補修</p> <p>6.5 施工の検査等</p> <p>6.9 化学物質の濃度測定</p> <p>① 完成時の提出図書</p> <p>② 完成図</p> <p>③ 安全に関する資料</p>		<p>5. 2.1 工事用水及び電力</p> <p>5. 2.2 性能及び構造</p> <p>5. 2.3 材料</p> <p>5. 2.4 形状及び仕上げ</p> <p>5. 2.5 工法</p> <p>5. 3.2 性能及び構造</p> <p>5. 3.3 材料</p> <p>5. 3.4 形状及び仕上げ</p> <p>5. 3.5 工法</p> <p>5. 4.2 性能及び構造</p>		<p>5. 2.1 改修工法</p> <p>5. 2.2 防火戸</p> <p>5. 2.3 見本の制作等</p> <p>5. 2.4 アルミニウム製建具</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>5. 2.5 工法</p> <p>5. 3.2 性能及び構造</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>5. 3.3 材料</p> <p>5. 3.4 形状及び仕上げ</p> <p>5. 3.5 工法</p> <p>5. 4.2 性能及び構造</p>		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)	・A種	S-4	A-3	W-4	70	・B種	S-5	A-4	W-5	100	・C種	S-6	A-4	W-5	100	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)	・A種	S-4	A-4	W-4	70	・B種	S-5	A-4	W-5	100	・C種	S-6	A-4	W-5	100	<p>5. 2.1 改修工法</p> <p>5. 2.2 防火戸</p> <p>5. 2.3 見本の制作等</p> <p>5. 2.4 アルミニウム製建具</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>5. 2.5 工法</p> <p>5. 3.2 性能及び構造</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>5. 3.3 材料</p> <p>5. 3.4 形状及び仕上げ</p> <p>5. 3.5 工法</p> <p>5. 4.2 性能及び構造</p>		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)	・A種	S-4	A-3	W-4	70	・B種	S-5	A-4	W-5	100	・C種	S-6	A-4	W-5	100	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)	・A種	S-4	A-4	W-4	70	・B種	S-5	A-4	W-5	100	・C種	S-6	A-4	W-5	100																																	
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)																																																																																																																				
・A種	S-4	A-3	W-4	70																																																																																																																				
・B種	S-5	A-4	W-5	100																																																																																																																				
・C種	S-6	A-4	W-5	100																																																																																																																				
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)																																																																																																																				
・A種	S-4	A-4	W-4	70																																																																																																																				
・B種	S-5	A-4	W-5	100																																																																																																																				
・C種	S-6	A-4	W-5	100																																																																																																																				
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)																																																																																																																				
・A種	S-4	A-3	W-4	70																																																																																																																				
・B種	S-5	A-4	W-5	100																																																																																																																				
・C種	S-6	A-4	W-5	100																																																																																																																				
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)																																																																																																																				
・A種	S-4	A-4	W-4	70																																																																																																																				
・B種	S-5	A-4	W-5	100																																																																																																																				
・C種	S-6	A-4	W-5	100																																																																																																																				
<p>2. 1.3 騒音・粉じん等の対策</p> <p>① 足場等</p> <p>② 既存部分の養生</p>		<p>2. 1.3 騒音・粉じん等の対策</p> <p>騒音・粉じん等の対策: ・防音パネル・防音シート</p> <p>防音パネル等の設置範囲: ・図示</p> <p>内部足場の種別: ○脚立・足場板・ローリングウォーク・単管足場 ○特組足場</p> <p>外部足場の設置、種別: ○設置しない・設置する【・特組足場・単管足場】</p> <p>保護シートの設置: ・設置する・設置しない</p> <p>材料等の運搬方法: ・A種・B種・C種 ○D種・E種</p> <p>既存部分養生材料: ○ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法:</p> <p>・指定場所に保管し再設置・指定場所に保管し清掃の上再設置</p>		<p>2. 1.3 騒音・粉じん等の対策</p> <p>騒音・粉じん等の対策: ・防音パネル・防音シート</p> <p>防音パネル等の設置範囲: ・図示</p> <p>内部足場の種別: ○脚立・足場板・ローリングウォーク・単管足場 ○特組足場</p> <p>外部足場の設置、種別: ○設置しない・設置する【・特組足場・単管足場】</p> <p>保護シートの設置: ・設置する・設置しない</p> <p>材料等の運搬方法: ・A種・B種・C種 ○D種・E種</p> <p>既存部分養生材料: ○ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法:</p> <p>・指定場所に保管し再設置・指定場所に保管し清掃の上再設置</p>		<p>2. 1.3 騒音・粉じん等の対策</p> <p>騒音・粉じん等の対策: ・防音パネル・防音シート</p> <p>防音パネル等の設置範囲: ・図示</p> <p>内部足場の種別: ○脚立・足場板・ローリングウォーク・単管足場 ○特組足場</p> <p>外部足場の設置、種別: ○設置しない・設置する【・特組足場・単管足場】</p> <p>保護シートの設置: ・設置する・設置しない</p> <p>材料等の運搬方法: ・A種・B種・C種 ○D種・E種</p> <p>既存部分養生材料: ○ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法:</p> <p>・指定場所に保管し再設置・指定場所に保管し清掃の上再設置</p>		<p>2. 1.3 騒音・粉じん等の対策</p> <p>騒音・粉じん等の対策: ・防音パネル・防音シート</p> <p>防音パネル等の設置範囲: ・図示</p> <p>内部足場の種別: ○脚立・足場板・ローリングウォーク・単管足場 ○特組足場</p> <p>外部足場の設置、種別: ○設置しない・設置する【・特組足場・単管足場】</p> <p>保護シートの設置: ・設置する・設置しない</p> <p>材料等の運搬方法: ・A種・B種・C種 ○D種・E種</p> <p>既存部分養生材料: ○ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法:</p> <p>・指定場所に保管し再設置・指定場所に保管し清掃の上再設置</p>																																																																																																																

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																	
14.2 材料	14. 壁紙張り 防火性能の指定：下表による・図示 品 質 検定区分 施工箇所 ・乳剤系 ・1級 ・2級 ・織物系 ・1級 ・3級 ・4級 ・フタ付系 ・1級 ・2級	① 錆止め塗料塗り ② 塗料の種類 ③ 4.3~4.5 ***塗料塗り	鉄鋼面見え掛り部分新規塗り工法：※A種・B種・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法：A種 ⊗B種・C種 鉄鋼面塗替え部分工法：A種・B種 ⊗C種																																																					
14.3 工	モルタル面及びプaster一面の下地調整：RA種 ※RB種・RC種 コンクリート面の下地調整：RA種 ※RB種・RC種 せつこうボード及びその他のボード面の下地調整：RA種 ※RB種・RC種	5.2 ***塗料塗り 7.2 ***塗料塗り 8.2~8.4 ***塗料塗り	4. 合成樹脂顔料ベイント塗り (SOP) 種別：※1種・2種 木部の種別 (新規外部)：※A種・B種 木部の種別 (新規内部)：A種 ※B種 木部の種別 (多孔質広葉樹)：A種・B種 木部の種別 (塗替え)：A種 ※B種 鉄鋼面の種別：A種 ⊗B種 亜鉛めっき鋼面の種別 (塗替え)：※A種・B種 亜鉛めっき鋼面の種別 (新規)：A種 ※B種																																																					
15.3 材料	15. モルタル塗り モルタル：現場調合材料・既調合材料 既製目地：適用・不適用 既製目地の形状寸法等：図示 床の目地：設ける・設けない 工法：※押し目地・切り目地	9.2~9.5 ***塗料塗り	5. クリヤーラッカー塗り (CL) 種別：A種 ※B種																																																					
15.6 工	16. タイル張り 伸縮調整目地の位置：※④m(縦・横共)・図示	10.2 ***塗料塗り	7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 種別：A種 ※B種																																																					
16.1 一般事項	伸縮調整目地の位置：※④m(縦・横共)・図示	11.2 ***塗料塗り	8. 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面の種別：A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面の種別：A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面の塗替え塗料の等級：1級・2級・3級 コンクリート面の種別：A-1種・A-2種・B-1種・B-2種・C-1種・C-2種 押出成形セメント板面の種別：A-1種・A-2種・B-1種・B-2種・C-1種・C-2種																																																					
16.3 セメントモルタルによるタイル張り	タイルの種別：図示・下表による	12.2 ***塗料塗り	9. つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-G) コンクリート面及びモルタル面の種別：A種 ⊗B種・C種 プaster一面の種別：A種 ※B種・C種 せつこうボード、及びその他のボード面の種別：A種 ※B種・C種 塗替えの場合のしめ止め：標準仕様書7.9.2(2)による・図示 屋内木部の種別 (新規)：※A種・B種・C種 屋内木部の種別 (多孔質広葉樹)：A種・B種・C種 屋内木部の種別 (塗替え)：A種 ※B種・C種 屋内鉄鋼面の種別：A種 ※B種・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種別：A種 ※B種・C種																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式・形状寸法 (mm)</th> <th>用途による区分</th> <th>耐凍害性</th> <th>色</th> <th>粒薬</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>施粒 無粒</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◎タイルの役物 使用箇所：出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓合 製造方法：接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：行う・行わない タイルの試験張り：行う・行わない 壁タイル張り工法：改良張り張り 張付けモルタル：現場調合材料・既調合材料</p>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	粒薬	備考				有 無	標準 特注	施粒 無粒																																					12.2 ***塗料塗り	10. 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP) 種別：A種 ⊗B種・C種 塗替えの場合のしめ止め：標準仕様書7.13.2(2)による・図示				
施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	粒薬	備考																																																		
			有 無	標準 特注	施粒 無粒																																																			
16.4 有機系接着剤によるタイル張り	タイルの種別：図示・下表による	13.2 ***塗料塗り	11. つや有合成樹脂エマルジョン機検塗料塗り (EP-T) コンクリート面及びモルタル面の種別：A種 ※B種・C-1種・C-2種・C-3種 プaster一面の種別：A種 ※B種・C-1種・C-2種・C-3種 せつこうボード等面の種別：A種 ※B種・C-1種・C-2種・C-3種																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式・形状寸法 (mm)</th> <th>用途による区分</th> <th>耐凍害性</th> <th>色</th> <th>粒薬</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>施粒 無粒</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◎タイルの役物 使用箇所：出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓合 製造方法：接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：行う・行わない タイルの試験張り：行う・行わない 壁タイル張り工法：改良張り張り</p>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	粒薬	備考				有 無	標準 特注	施粒 無粒																																					14.2 ***塗料塗り	12. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 種別：A種 ※B種				
施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	粒薬	備考																																																		
			有 無	標準 特注	施粒 無粒																																																			
17.2 材料	17. セルフレベリング材塗り 品質：ワット系 (屋内外)・せつこう系 厚さ：10mm・図示	14.2 ***塗料塗り	13. オイルステイン塗り (OS) 塗料の種別：図示																																																					
7章 建築改修工事	1. 共通事項 塗料の防火材料の指定：図示 ○無・有 () 2. 下地調整 塗替え面の種別 種別 木部 (不透明塗料塗り部) ※RA種・RB種・RC種 木部 (透明系塗料塗り部) RA種 ※RB種・RC種 鉄鋼面 ⊗RA種 ⊗B種・RC種 亜鉛めっき鋼面 RA種 ※RB種・RC種 モルタル、プaster RA種 ※RB種・RC種 コンクリート、ALCパネル RA種 ⊗B種・RC種 押出成形セメント板 RA種・RB種・RC種 せつこうその他のボード 経目処理工法の場合：RA種 ※RB種・RC種 その他の場合：RA種 ⊗B種・RC種 3. 錆止め塗料塗り 鉄鋼面：⊗A種・B種 鉄鋼面 (塗替えEP-Gの場合)：A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面：※A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面 (塗替えEP-Gの場合)：A種・B種 ※C種	① 膜工事 ② 下地金物工事 ※参考メーカー	1. 膜材料 ○ガラス繊維+PVC樹脂コーティング (厚さ0.47mm) 不燃材料 (建築基準法第2条第九号) NM-4223-1 ○ポリエステル繊維+PVC樹脂コーティング (厚さ0.95mm) 防火製品 F-2572 ※一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること。 ※一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場 (A種を除く膜材料を加工する工場) で加工すること。 1. 膜天井用下地鉄骨種類・材質 ○一般構造用鋼材 SS400、STKR400 2. 鉄骨・金物塗料仕様 ○溶融亜鉛めっき仕上げ 3. 膜定着金物 ○アルミ押し出し材 (材質：6N01-T5) アルマイトクリア塗装 太陽工業 (株) VERYFINE AW 同等品以上 FT381 同等品以上																																																					

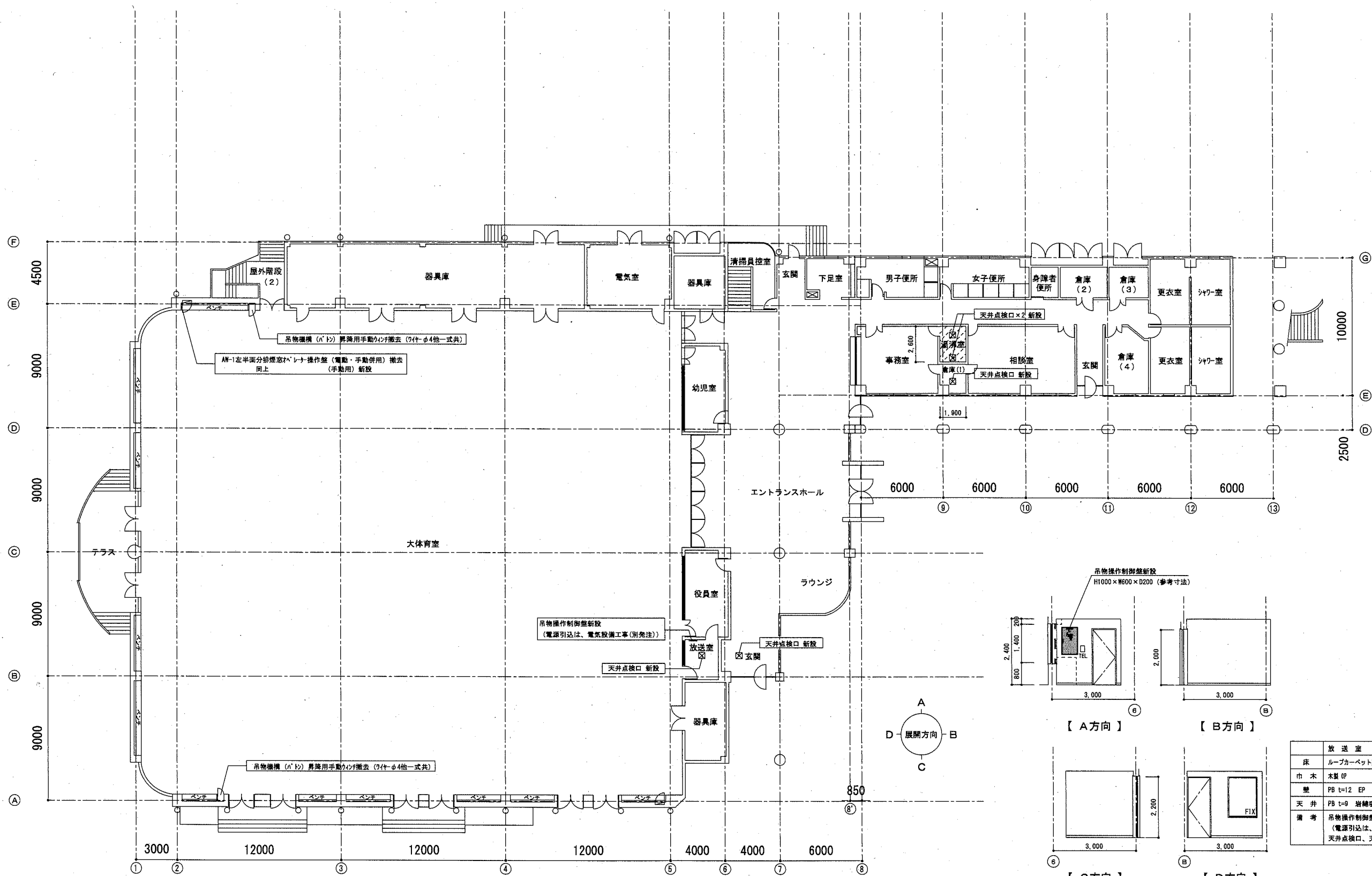


公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 令和 2 年 12 月

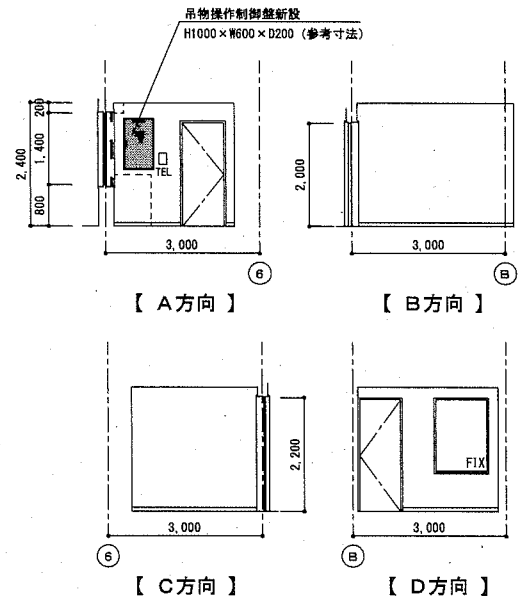
設計名称 NAME OF PROJECT	西体育会館大体育室天井改修その他工事	図面名称 TYPE OF DRAWING	配置図
縮尺 SCALE	1 : 400	図面番号 DRAWING NUMBER	

A-06



□: 天井改修
 □: 天井点検口 (450×450) 新設
 ※ 設置位置は、電気設備工事 (別発注) と調整すること。

1階平面図 S=1:200



放送室	
床	ルーフカーペット敷
市木	木製印
壁	PB t=12 EP
天井	PB t=9 岩綿吸音板 t=12
備考	吊物操作制御盤 新設 (電源引込は、別発注電気設備工事) 天井点検口、天井裏通 新設

放送室展開図・仕上表 S=1:100

公共建築課長 主査等 担当者

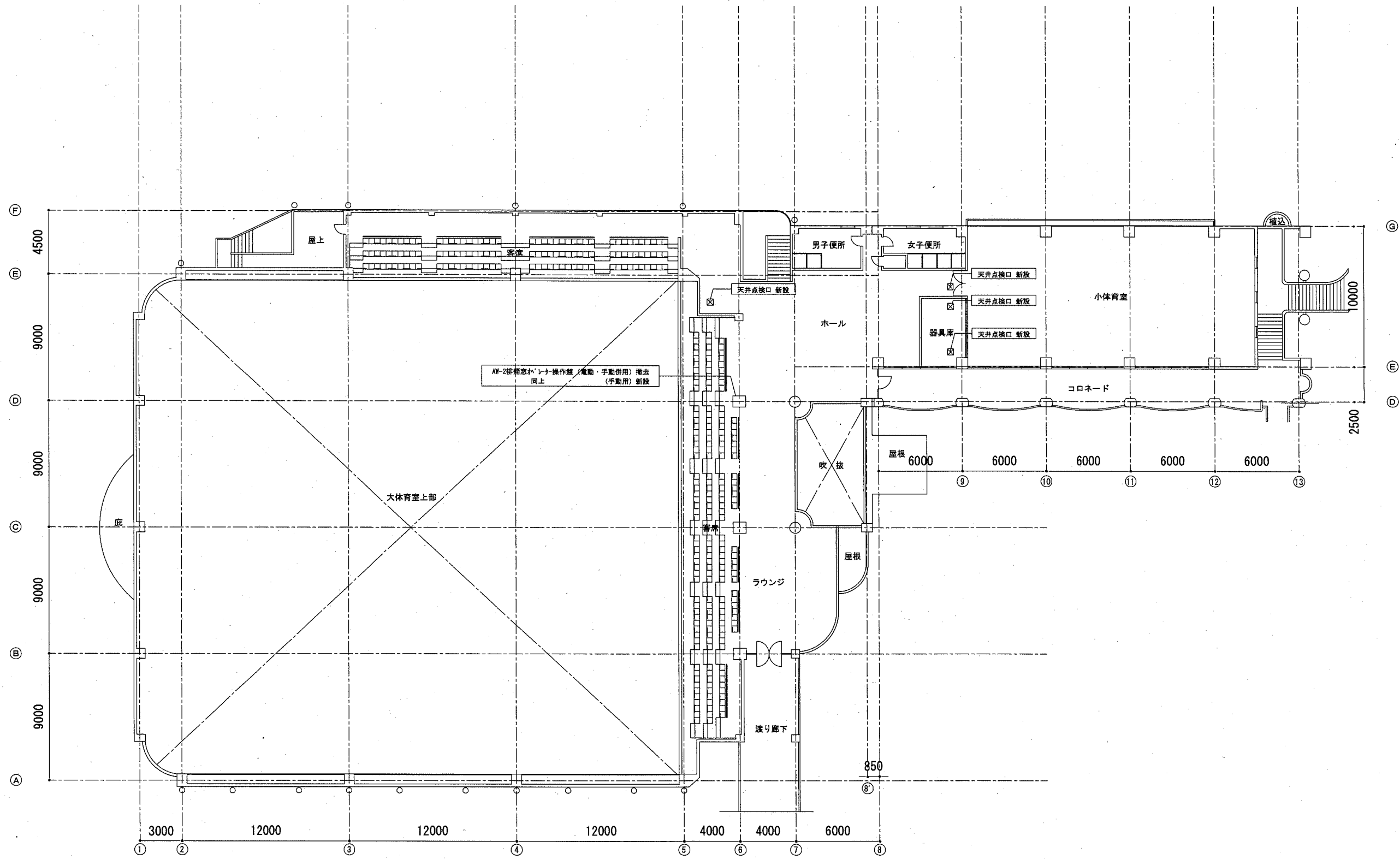


横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2 年 12 月

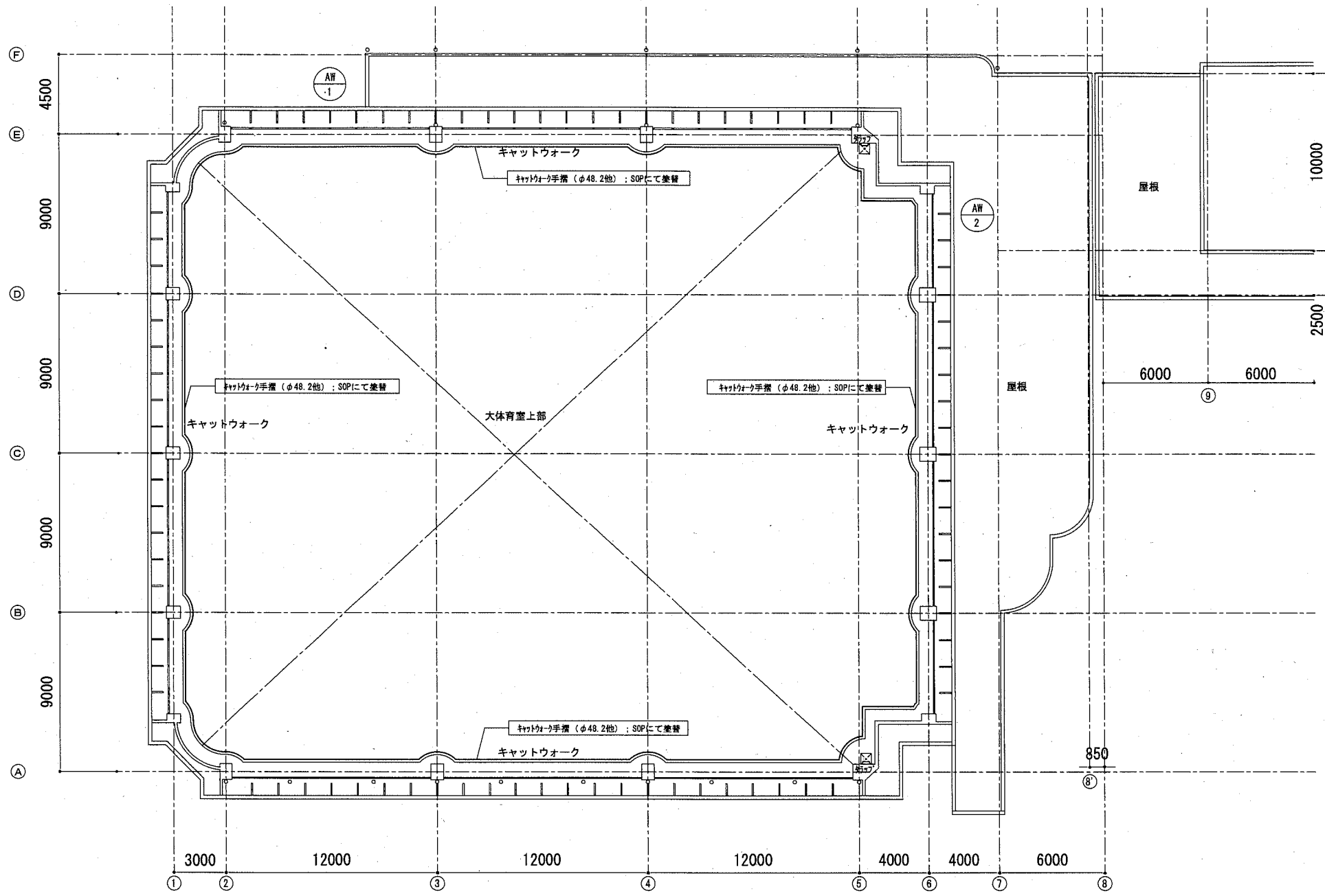
設計名称
 NAME OF PROJECT
 西体育金館大体育室天井改修その他工事
 PROJECT NUMBER

図面名称
 ITEM OF DRAWING
 1階平面図・放送室展開図
 縮尺 1:200・100
 SCALE
 NO.

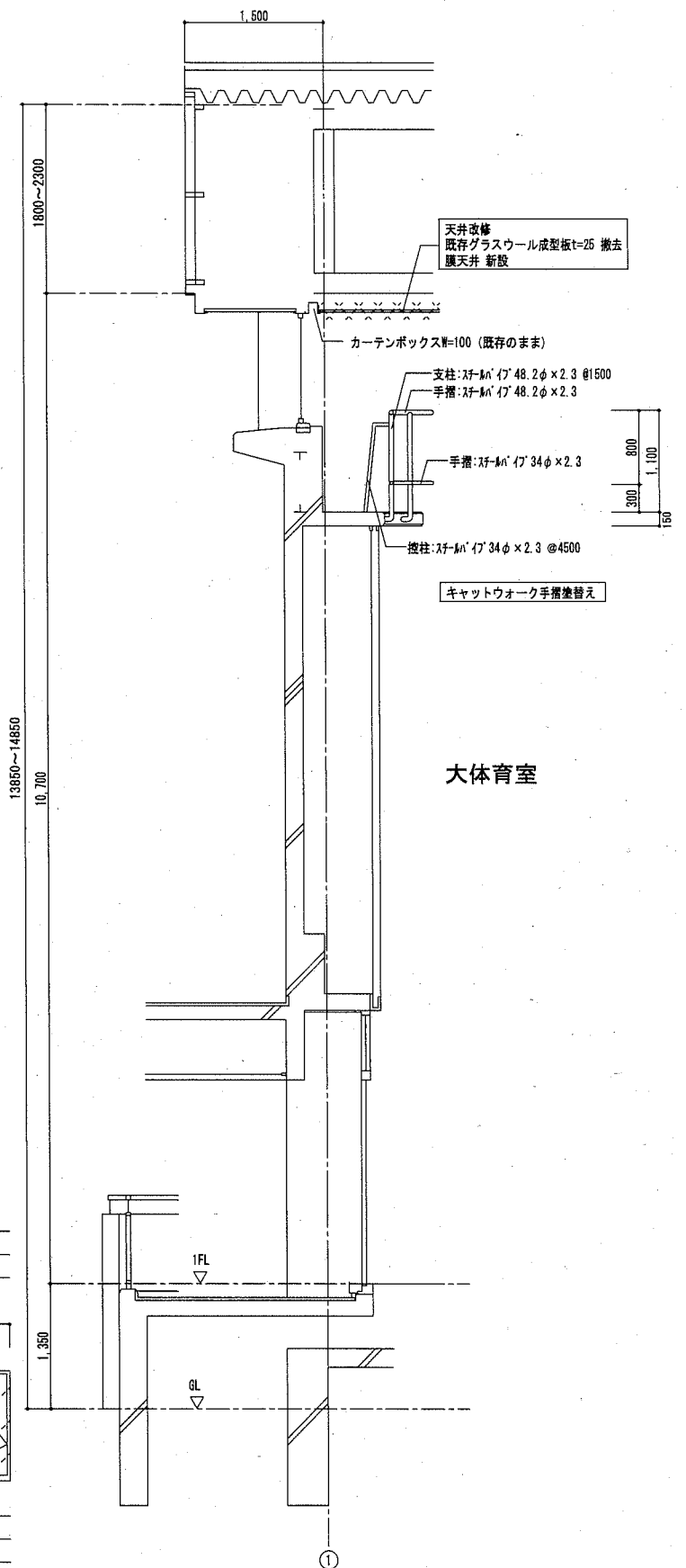


☒ : 天井点検口 (450×450) 新設
 ※ 設置位置は、電気設備工事 (別発注) と調整すること。

2階平面図 S=1 : 200



R階平面図 S=1:200



矩計図 S=1:50

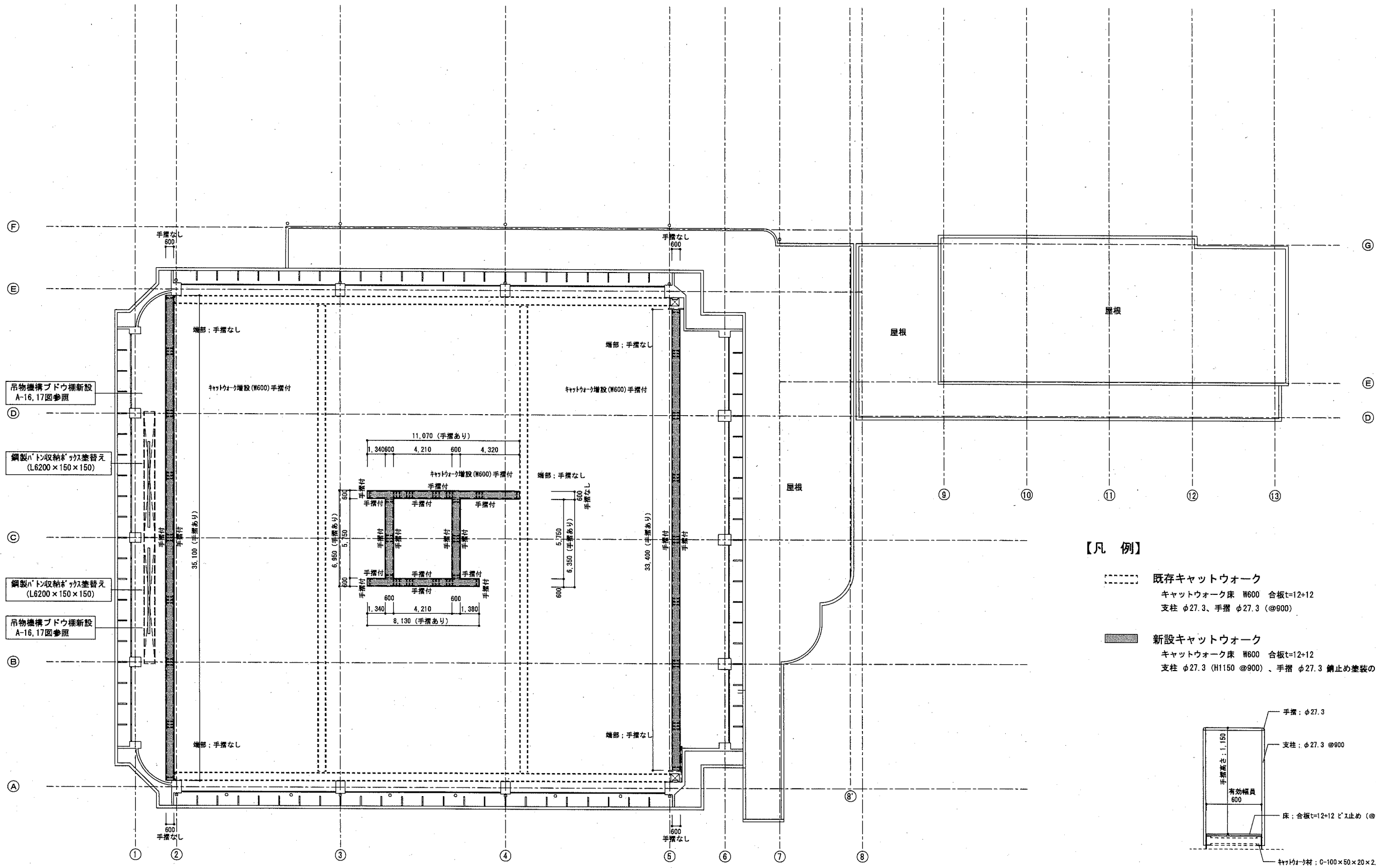
建具表 S=1/50

記号・個数	AW-1 (8連) : 1ヶ	AW-2 (4連) : 1ヶ
取付場所	大体育室上部	大体育室上部
形状・寸法	<p>1,030 70 1,430 70 1,430 70 1,430 70 1,430 70 1,430 70 1,430 70 1,030</p>	<p>1,280 70 1,430 70 1,430 70 1,280</p> <p>【ハッチ部分: チェーンボックス交換】</p>
種別方式	横軸回転窓	横軸回転窓
材料仕上	アルミ製 (発色)	アルミ製 (発色)
ガラス厚	70-tt=5 (一部、網入透明t=6.8)	70-tt=5 (一部、網入透明t=6.8)
付属金物	7#3 網線4方	7#3 網線4方
備考	改修: オペレータ (電動開閉式・手動開放併用操作盤、リ付他一式 撤去 → 手動開閉操作盤、リ付他一式 新設)	改修: オペレータ (電動開閉式・手動開放併用操作盤、リ付他一式 撤去 → 手動開閉操作盤、リ付他一式 新設)

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 令和 2 年 12 月

設計名称
西体育会館大体育室天井改修その他工事
図面名称
R階平面図・矩計図・建具表
縮尺 1 : 200・50
NO.



吊物機構ブドウ棚新設
A-16, 17図参照

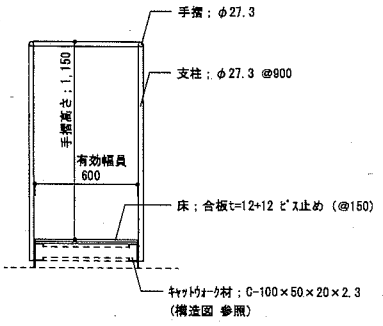
鋼製「ト」収納架[※]カッパ替え
(L6200×150×150)

鋼製「ト」収納架[※]カッパ替え
(L6200×150×150)

吊物機構ブドウ棚新設
A-16, 17図参照

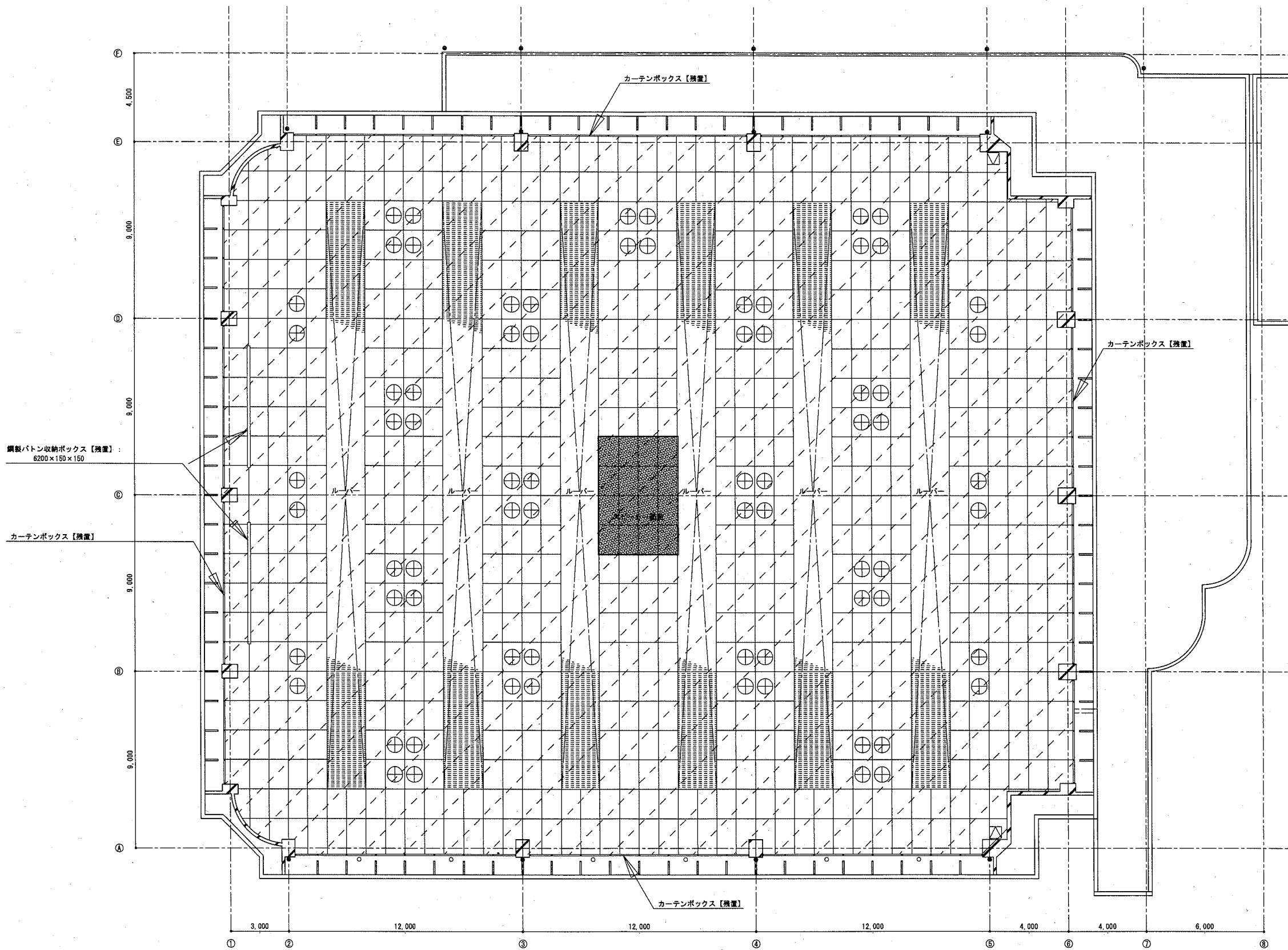
【凡例】

- 既存キャットウォーク
キャットウォーク床 W600 合板t=12+12
支柱 φ27.3、手摺 φ27.3 (@900)
- 新設キャットウォーク
キャットウォーク床 W600 合板t=12+12
支柱 φ27.3 (H1150 @900)、手摺 φ27.3 錆止め塗装のみ







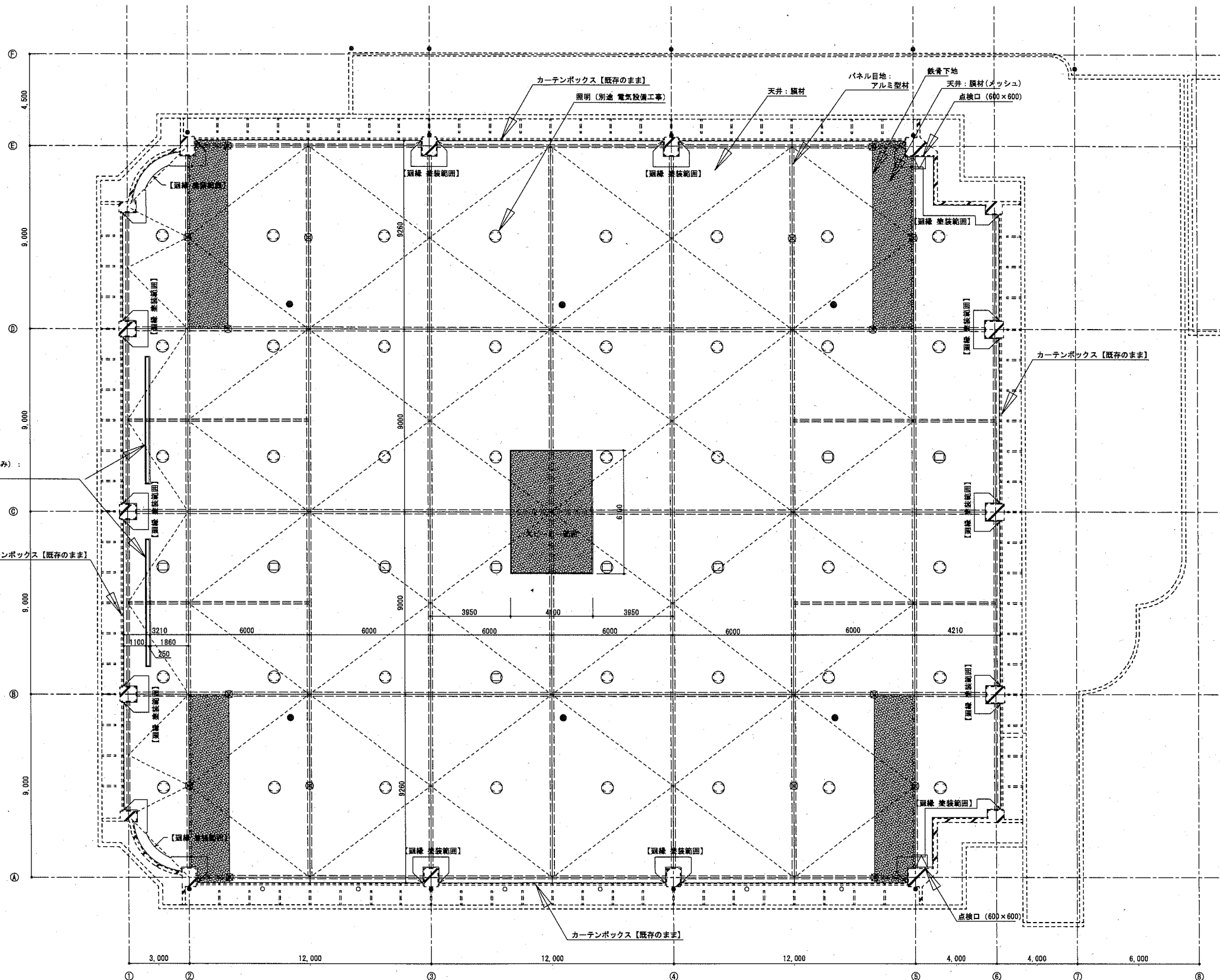
天井内キャットウォーク平面図 S=1 : 200

キャットウォーク詳細図 S=1 : 20

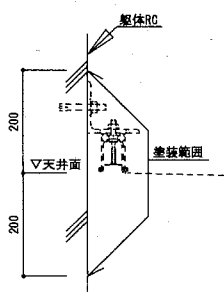


天井伏図 S=1:150

-  : 天井撤去範囲。(ハッチ部分支持金物共全て撤去。天井点検口共。カーテンボックス・バトン収納ボックスは残す。)
-  : 照明開口位置を示す。(撤去は、別途電気設備工事とする。)
-  : ワイヤーマッシュ100角・サランネット範囲を示す。(支持金物共全て撤去)【スピーカー範囲】
-  : ルーバー(7桁(青色)t=1.2@150固定式)範囲を示す。(支持金物共全て撤去)



パトン収納ボックス(既存のまま。塗装のみ):
6200x150x150x2ヶ

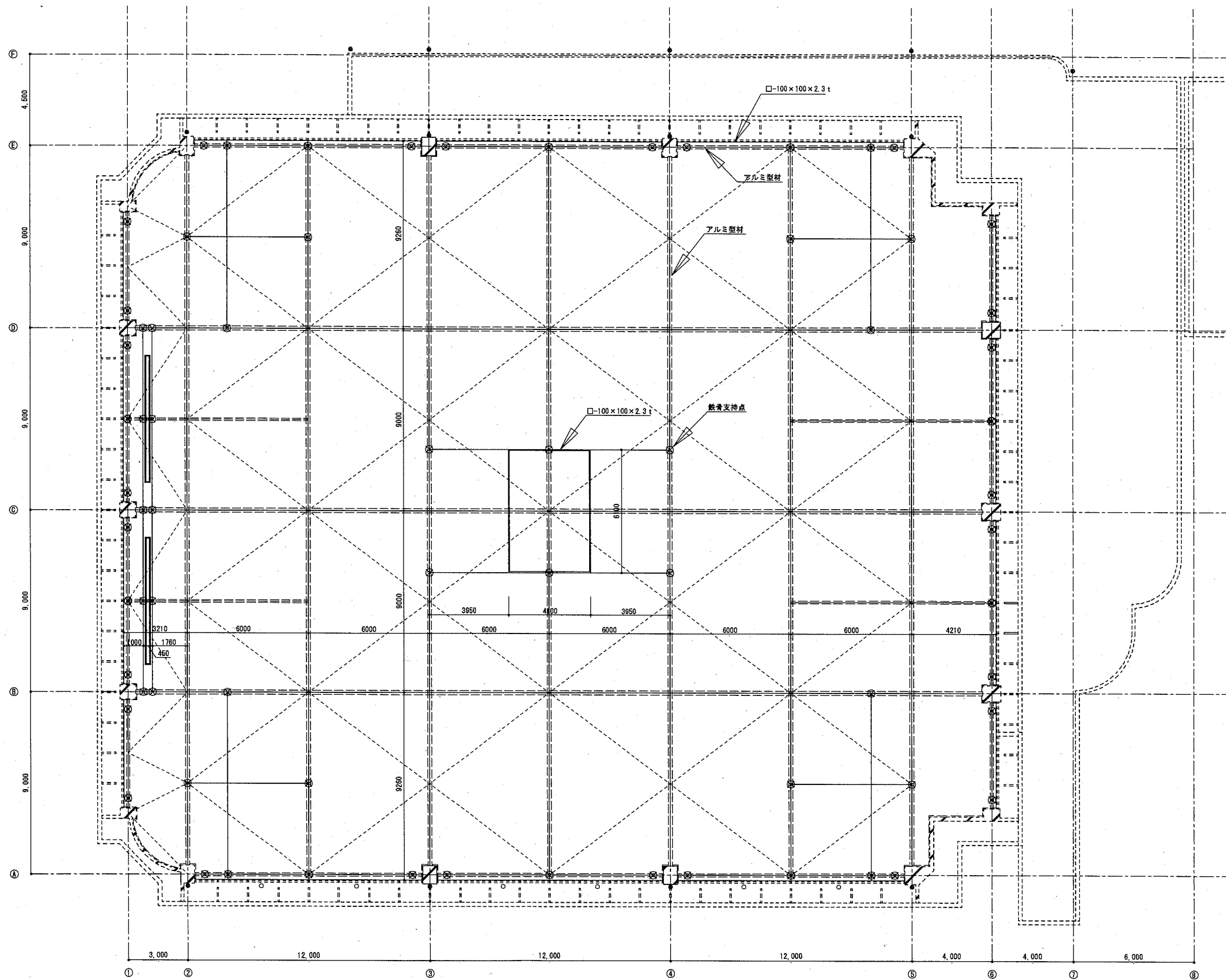


躯体壁 塗装範囲図 S=1:10

天井膜材: VERVIFINE (膜厚: 0.47mm、不燃材料認定品 NM-4223-1)
* 一般社団法人日本膜構造協会第1種正会員であること
* 一般社団法人日本膜構造協会の膜体加工工場認定制度に登録された工場(全ての膜材料を加工する工場)で加工すること
* ISO9001を導入している企業とすること
* 膜材料を製品使用後に引き取り、リサイクルされる仕組みを整えていること

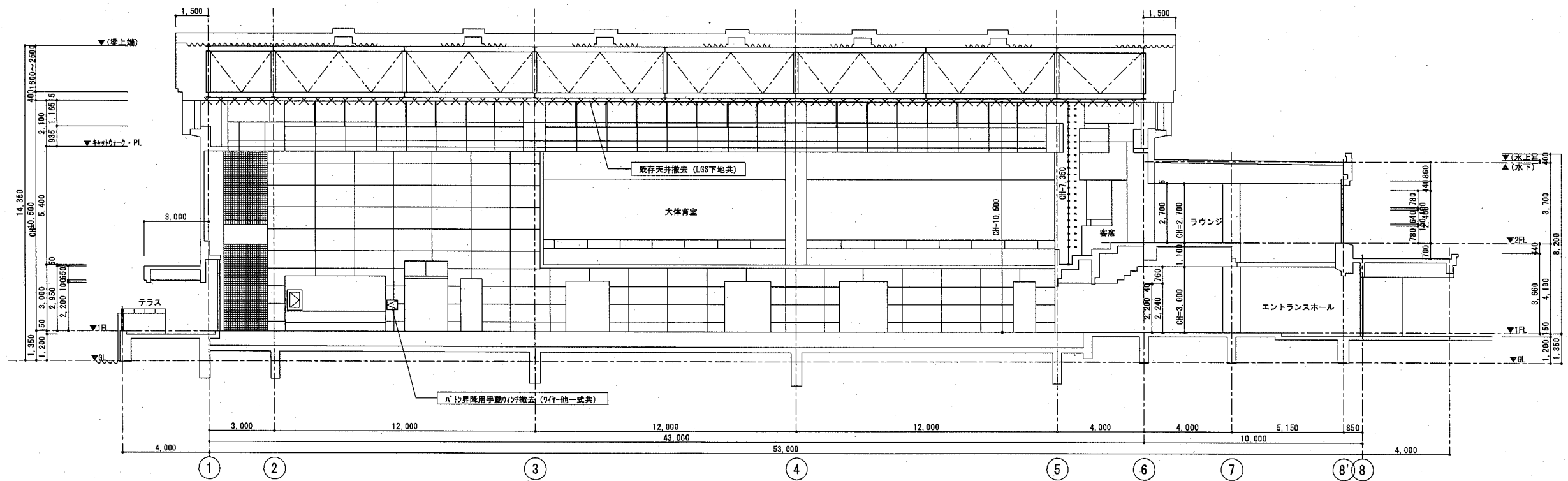
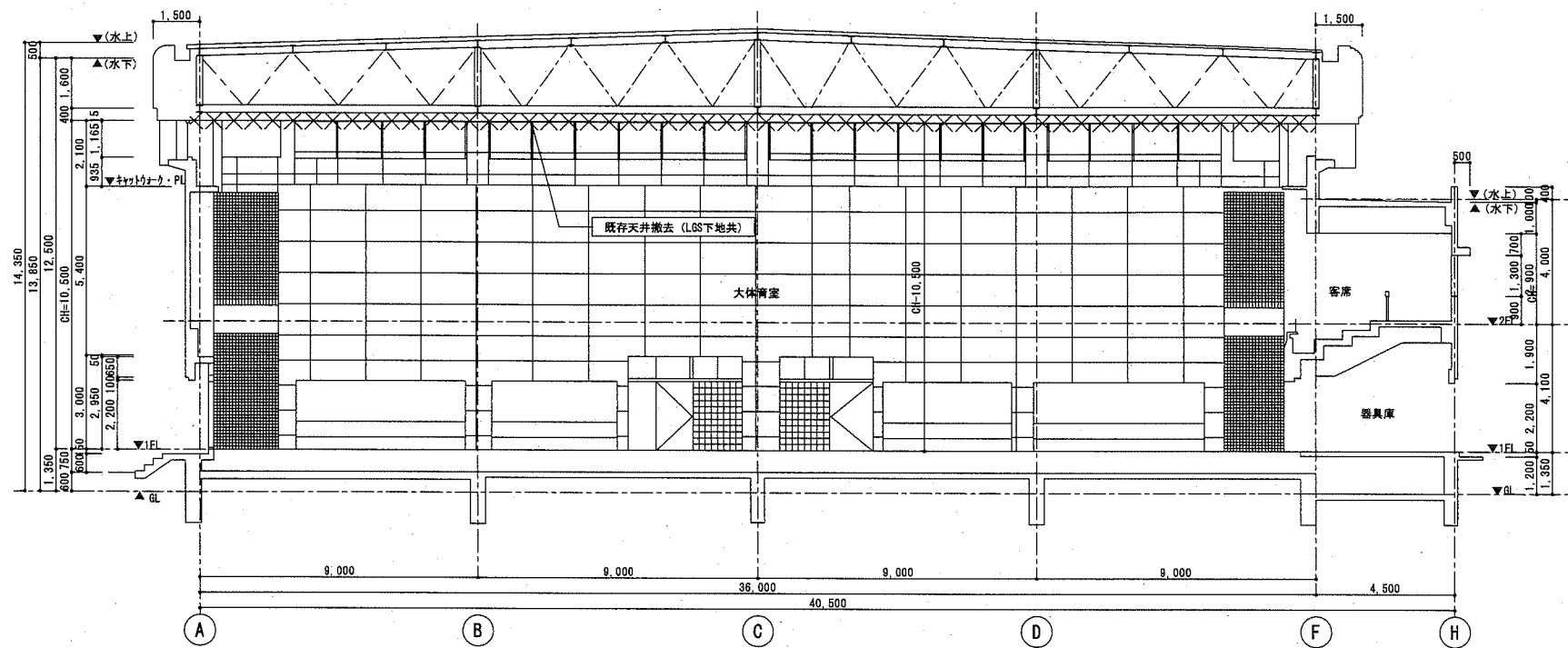
天井伏図 S=1:150

- : 照明開口位置を示す。(600φ程度)
- : 非常照明位置を示す。(160φ程度)
[※ 上記照明は、別途電気設備工事]
- : 膜天井を示す。
- : メッシュ膜範囲を示す。
- ▽ : 新規天井点検口(600x600)を示す。
不燃石膏ボード下地
- : 躯体壁 鋼線EP-G塗装範囲を示す。

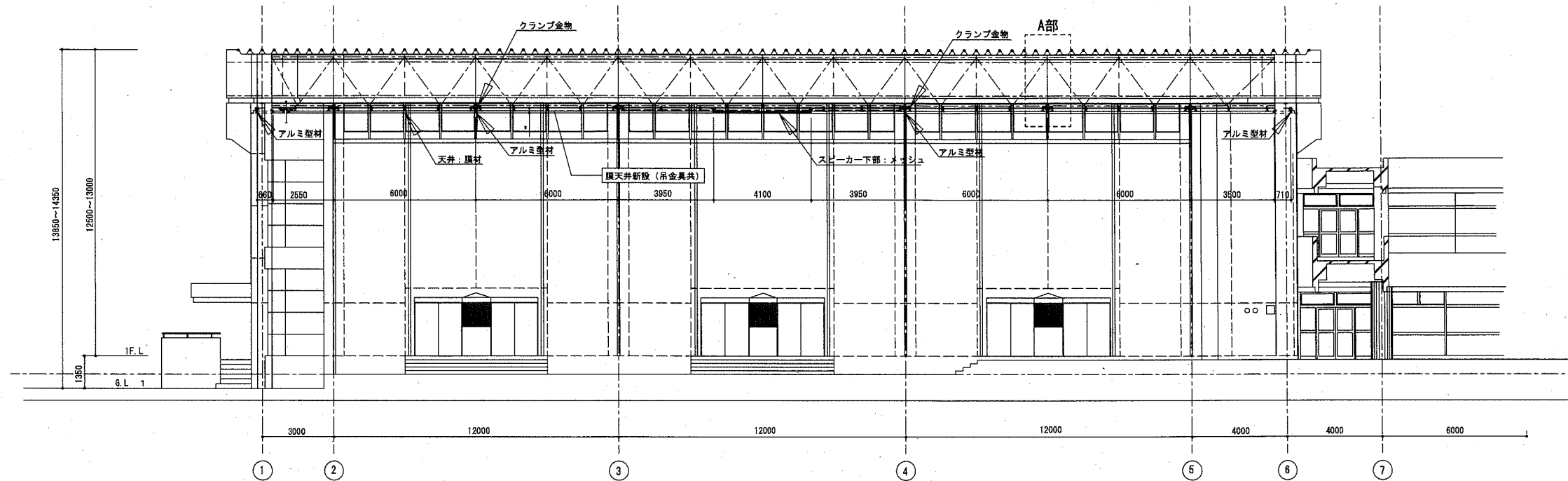


天井下地伏図 S=1 : 150

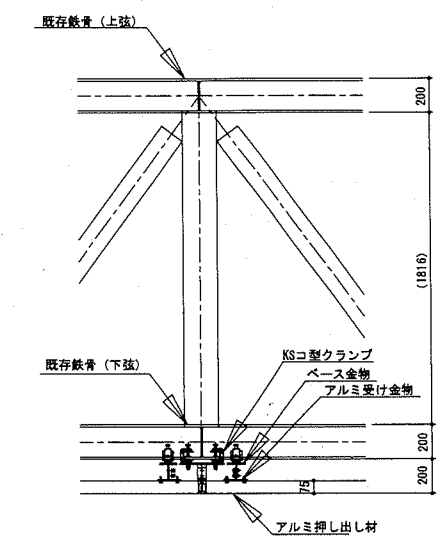
鋼天井下地材 屋内錆止め塗装 (F☆☆☆☆) 種別: A種、工程: B種、下地調整: RA種				
工程	塗料名	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	施工区分
1 汚れ・付着物除去	スクレーパー、ワイヤーブラシ等で除去			工場
2 油類除去	溶剤吹き			
3 錆落とし	ディスクサンダー又はスクレーパー、ワイヤーブラシ、研磨紙P120~220で除去			
4 錆止め塗料 (1回目)	鉛・クロムフリーさび止めペイント 1種 (JIS K 5674)	0.10	吹付・はけ	
5 錆止め塗料 (2回目)	鉛・クロムフリーさび止めペイント 1種 (JIS K 5674)	0.10	吹付・はけ	



断面図 S=1:150

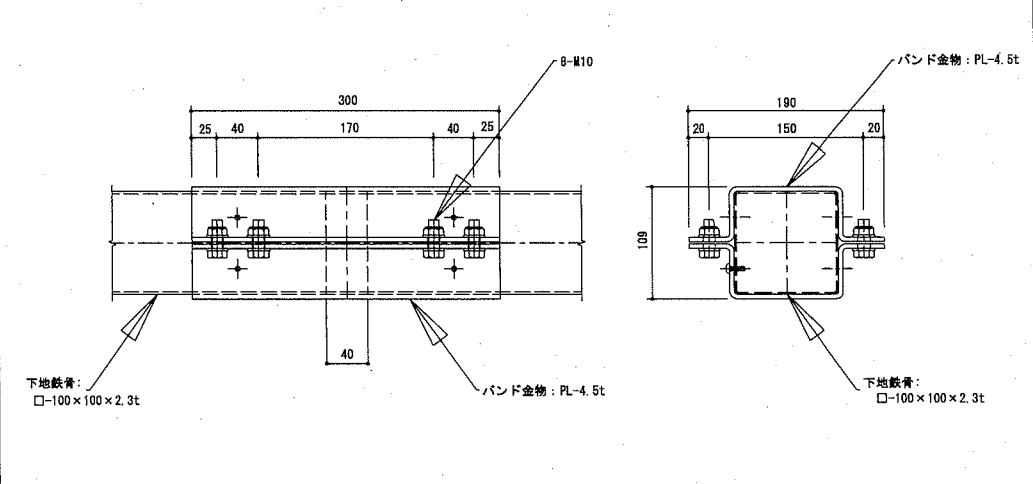
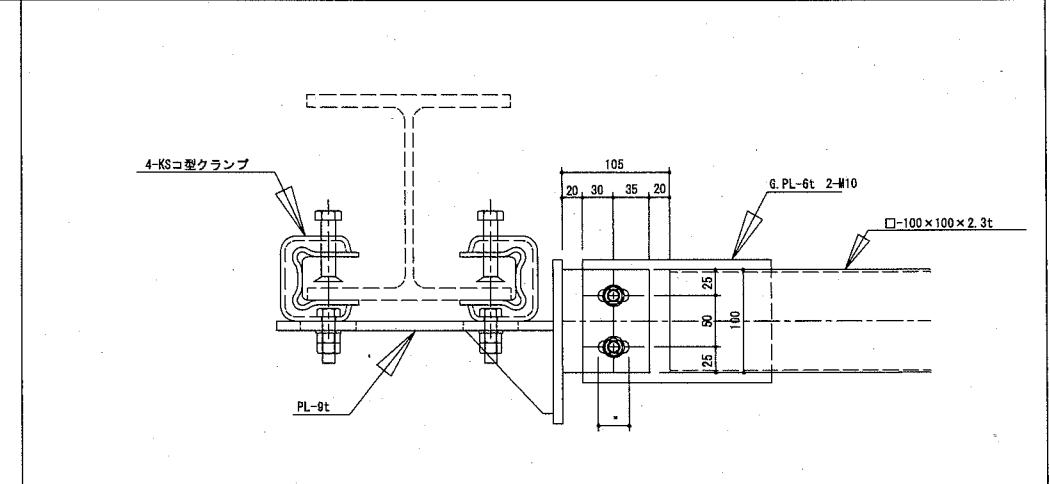
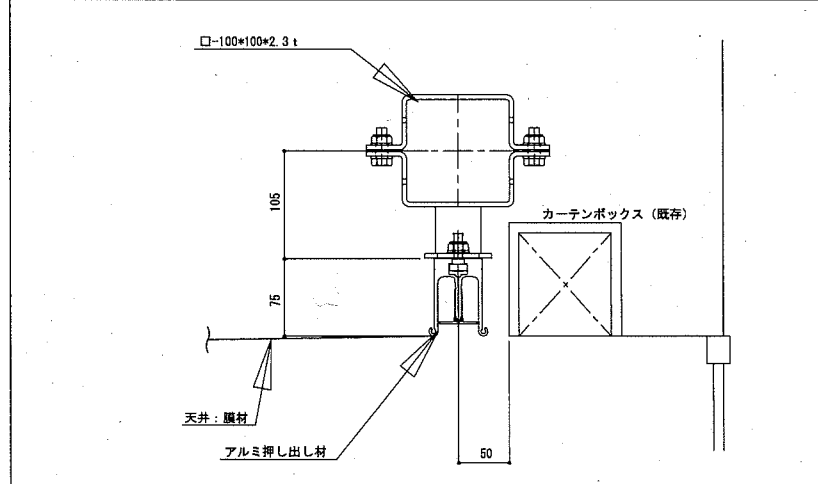


C通り断面図 S=1:150



A部 詳細図 S=1:20

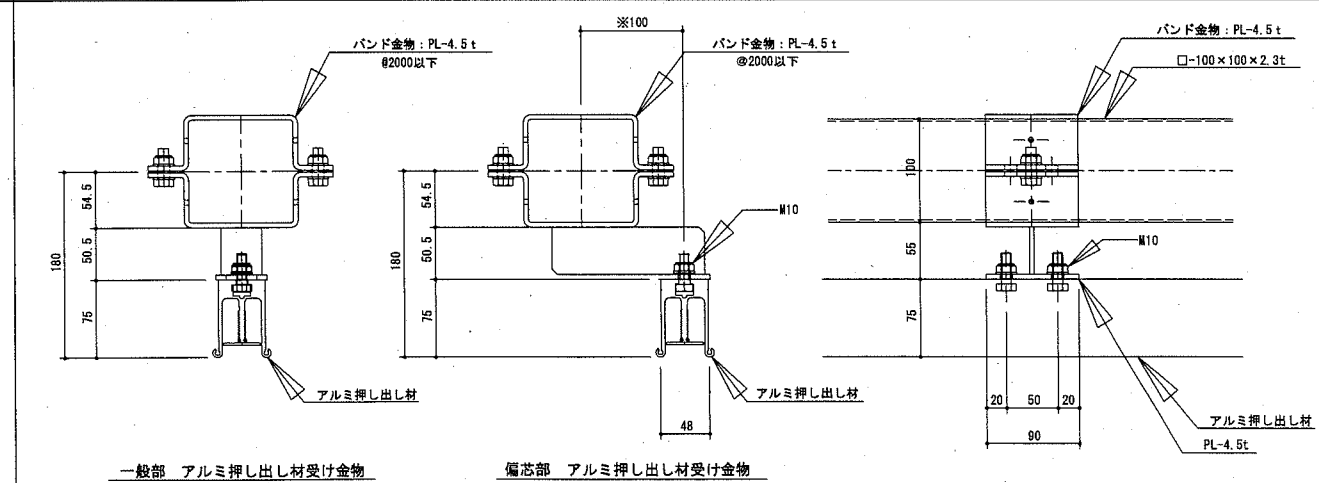
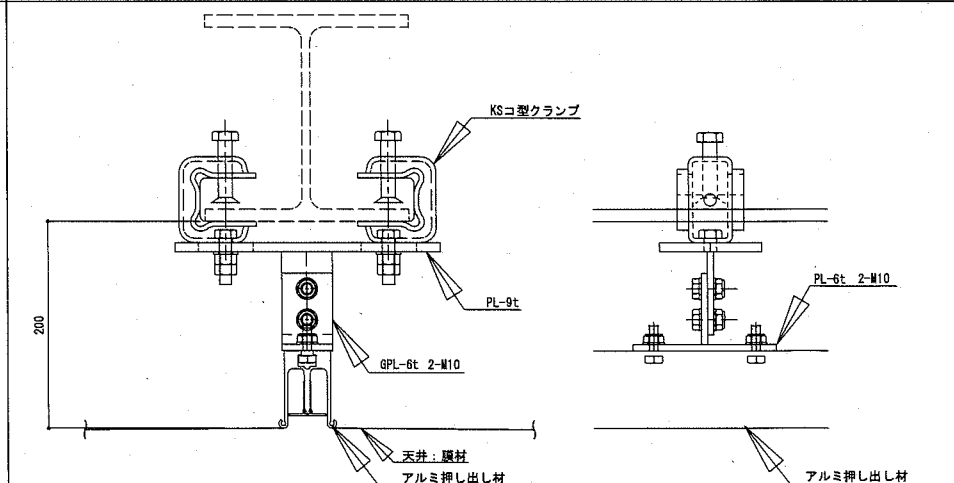
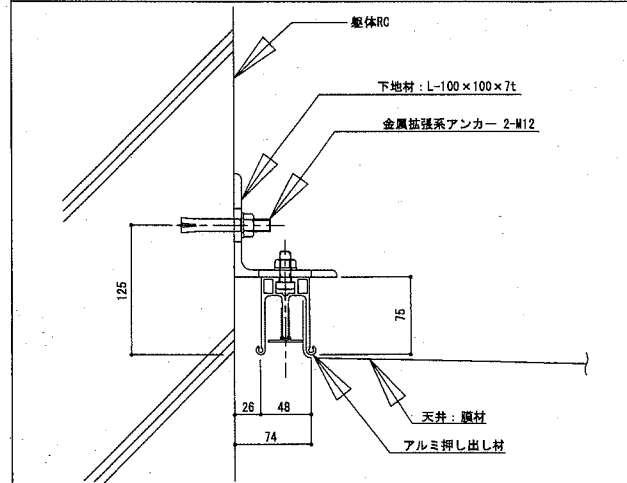
外周カーテンボックスまわり 参考図 【金物支持ピッチ@2000以下】 S=1:5 一般部 角パイプ支持(鉄骨指示点) 参考図 S=1:5 鉄骨Joint部 参考図 【角パイプジョイントは、搬入条件に合わせて適宜設けること。】 S=1:5

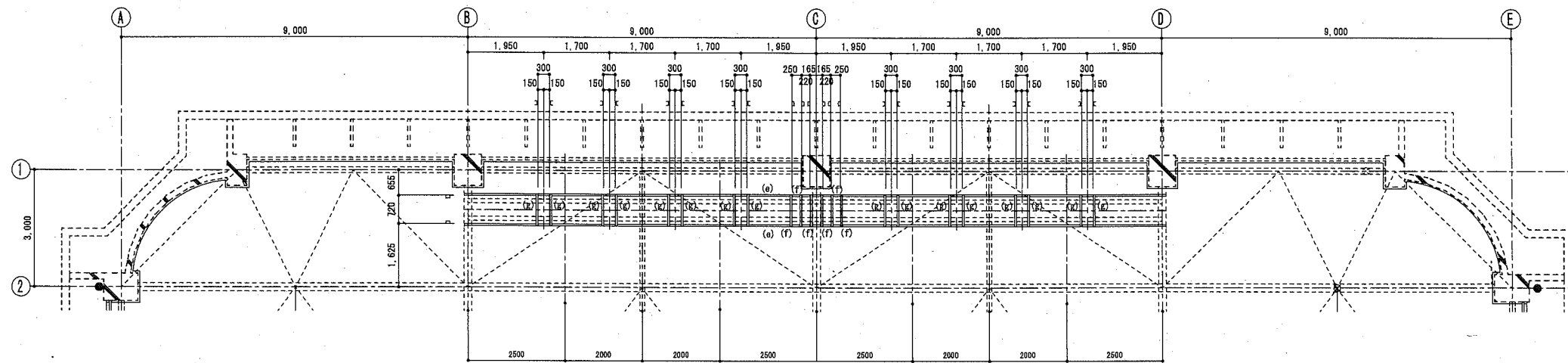


躯体壁まわり 参考図 【金物支持ピッチ@2000以下】 S=1:5

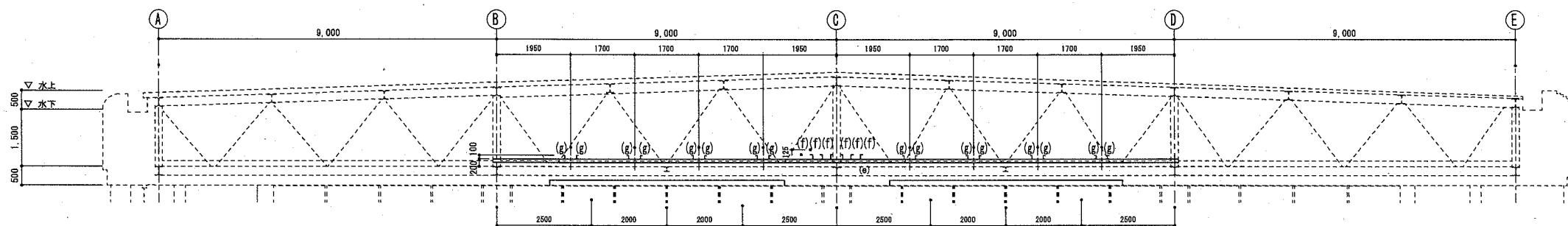
一般定着部 参考図 【※金物支持ピッチ@2000以下】 S=1:5

アルミ押し出し材受け 参考図 S=1:5





吊物機構ブドウ棚平面図 S=1:100

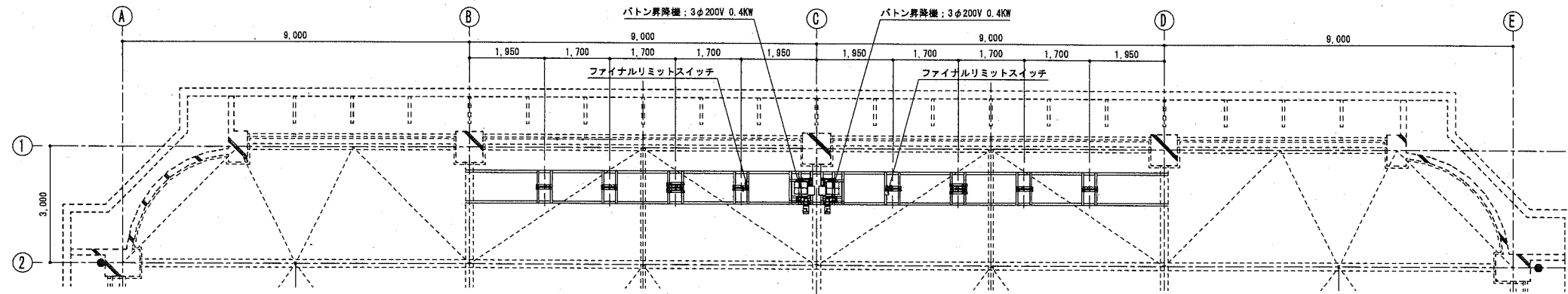


吊物機構ブドウ棚正面図 S=1:100

ブドウ棚部材表

記号	部材名	備考
(e)	C-100x50x20x3.2	
(f)	[-125x65x6x8	昇降機用架台
(g)	[-100x50x5x7.5	滑車用架台

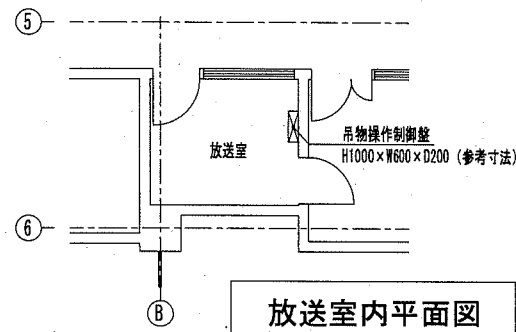
注) 1. ブドウ棚工事は、建築工事とする。詳細は構造図参照のこと。
 2. 錆止め仕様 錆止め: A種、工程: B種、下地調整: RA種



【工事区分表（吊物機構）】

工事箇所	建築工事	吊物工事	電気設備工事（別途）
舞合機構設置制作取付		○	
舞合機構操作制御盤製作取付		○	
ブドウ組工事	○		
電気1次側配管配線			○
電気2次側配管配線			○
アウトレットボックス等			○
1次側結線工事			○
2次側結線工事		○	

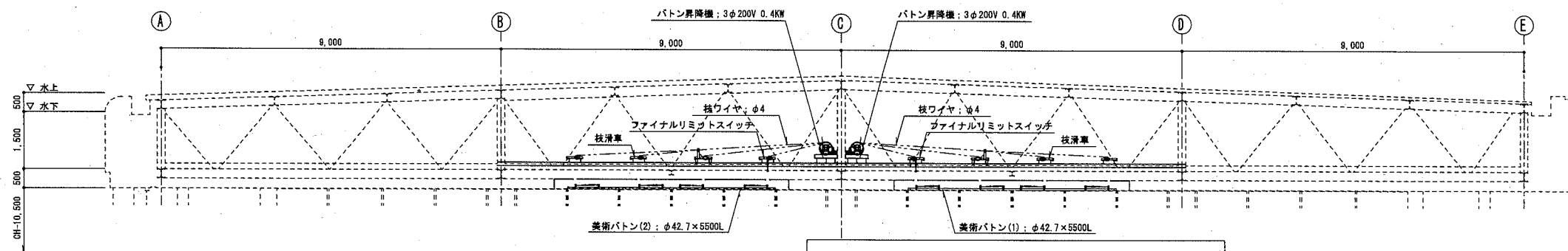
※ 2次側配管配線工事は、アウトレットボックスまでとする。



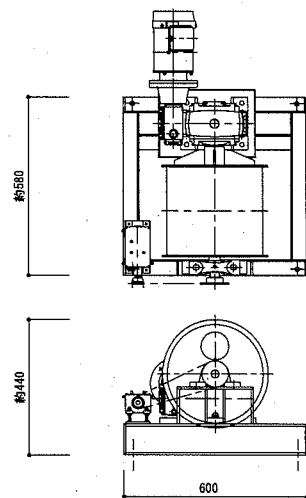
吊物機構 機器滑車平面図 S=1:100

【吊物機構 機器仕様表】

番号	名称	仕様	容量 (3φ200V)	速度 (m/min)	吊点数	積載質量 (Kg)	枝ワイヤ	バトン・レール寸法	備考
1	美術バトン(1)	電動昇降（ワイヤ巻取式）	0.4kw	約7	4	100	φ4	バトン φ42.7×5500L	
2	美術バトン(2)	電動昇降（ワイヤ巻取式）	0.4kw						
○	吊物機構操作制御盤	2系統、一次側電源：3φ3W 200V							取付位置は、会館及び監督員と打合せの上決定とする。



吊物機構 機器滑車正面図 S=1:100

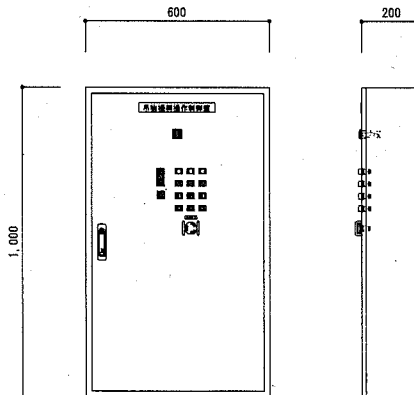


美術バトン昇降機姿図

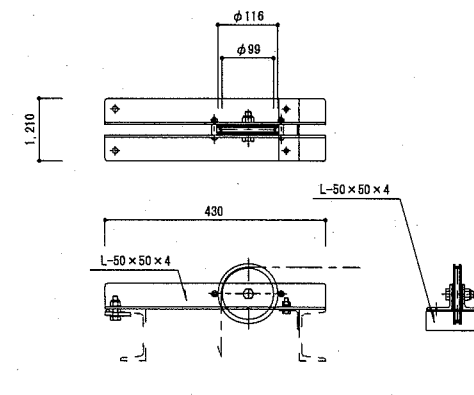
品名	仕様
モーター付減速機	3φ200V 0.4kw プレーキ付
ワイヤドラム	φ318
ベース	C-100x50x20x2.3 加工
数量	2台

積載質量: 100kg 昇降速度: 約7m/min

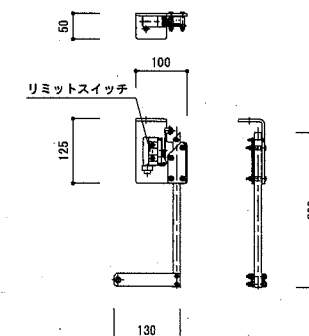
サイズ	W600 x H1000 x D200
塗装	日産工 標準色 K22-908 (2.5Y6/1)
ハンドル	鍍付平面ハンドル
扉形式	片扉



吊物機構操作制御盤姿図
数量: 1台



枝滑車姿図
数量: 8台



ファイナルリミットスイッチ姿図
数量: 2台

公共建築課長 主査等 担当者

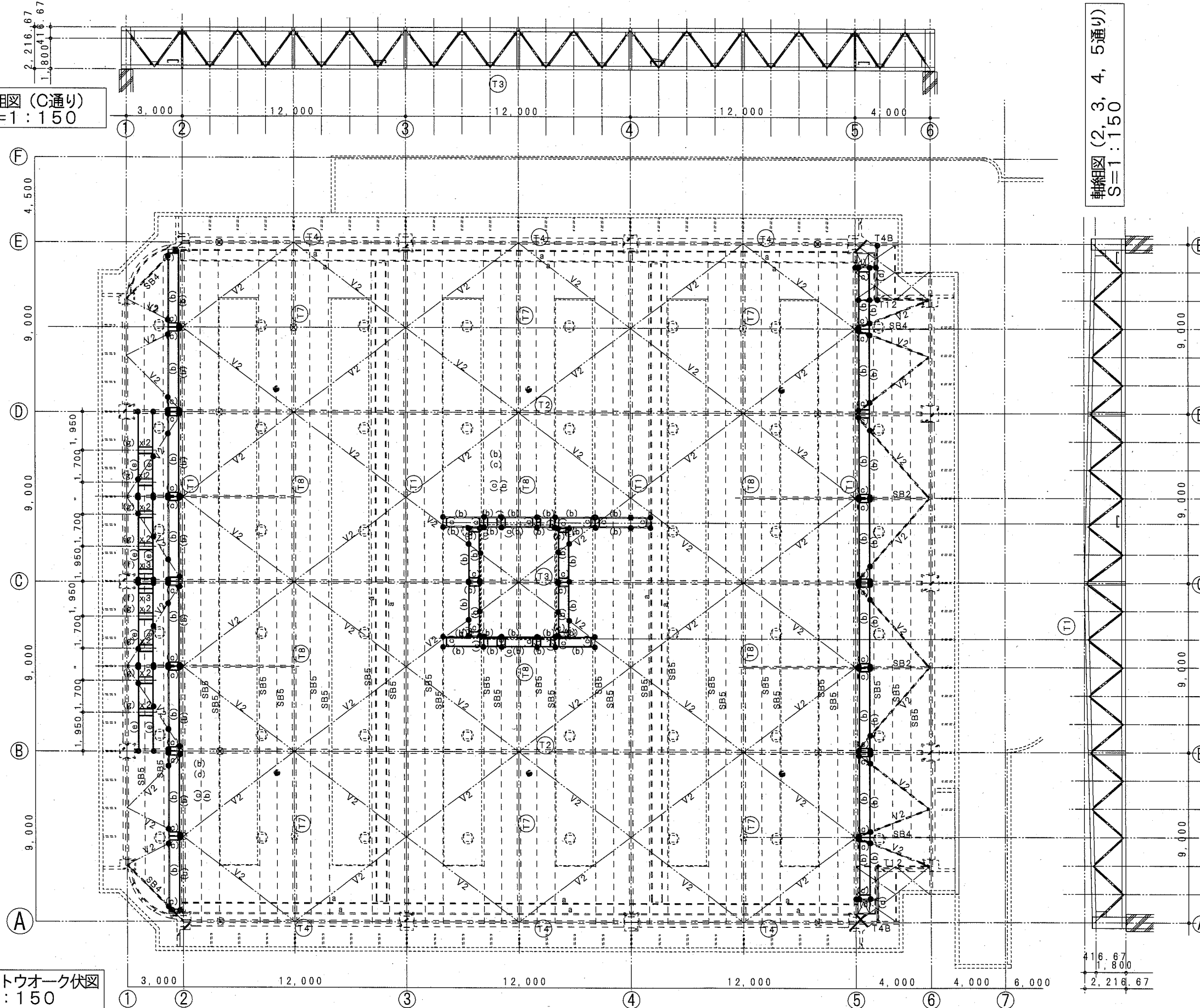
横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和 2 年 12 月

設計名称
西体育会館大体育室天井改修その他工事

図面名称
吊物機構(1)機器滑車配置図/機器姿図
縮尺 1:100

軸組図 (C通り)
S=1:150



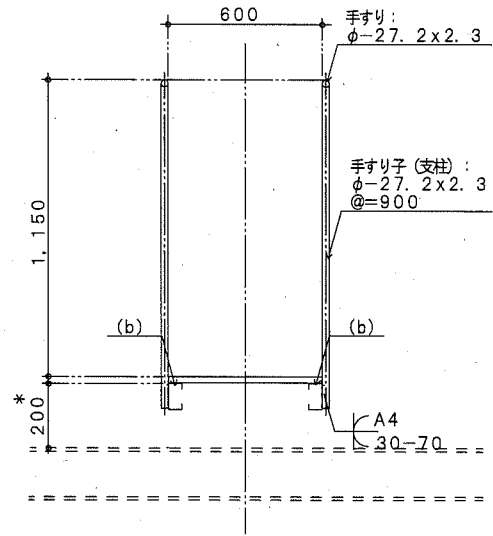
軸組図 (2, 3, 4, 5通り)
S=1:150

- 部材リスト
- トラス梁 (T1)
 - 下弦材 : BH-200x200x12x16
 - 上弦材 : H-200x200x 8x12
 - 束材 : H-194x150x 6x 9
 - 斜材 : 2L-90x90x13, 7
 - トラス梁 (T2, T3, T4, T4B)
 - 下弦材 : BH-200x200x12x16
 - 上弦材 : H-200x200x 8x12
 - 束材 : H-104x150x 6x 9
 - 斜材 : 2L-90x90x13, 7
 - つなぎトラス梁 (T7, T8)
 - 下弦材 : H-194x150x 6x 9
 - 束材 : H-125x 60x 6x 8
 - 斜材 : L-75x75x6
 - トラス梁 (T12)
 - 下弦材 : L-125x 65x 6x 8
 - 束材 : L-100x 50x5x7.5
 - 斜材 : L-65x65x6
 - 水平トラス
 - V2 : H-194x150x 6x 9
 - 天井吊り材
 - SB5 : C-150x65x20x3.2
 - SB3 : C-180x75x20x3.2
 - SB4 : L-125x65x6
 - キャットウォーク材
 - a (既設) : C-100x50x20x2.3
 - (b) (新設) : C-100x50x20x2.3
 - (c) (新設) : C-100x50x20x2.3
 - (d) (新設) : C-150x65x20x3.2
 - キャットウォーク手すり
 - 支柱 手すり材 : φ-27.2x2.3
 - ブドウ棚 及び受け材
 - (e) 新設ブドウ棚 : C-100x50x20x3.2
 - (f) 新設受材 : L-125x65x6x8
 - (g) " : L-100x50x5x7.5
- *滑車及びバトン昇降機架台との現場接合部は
吊物工事とする
- 印: 新設部材の既存部材への接合部を示す。

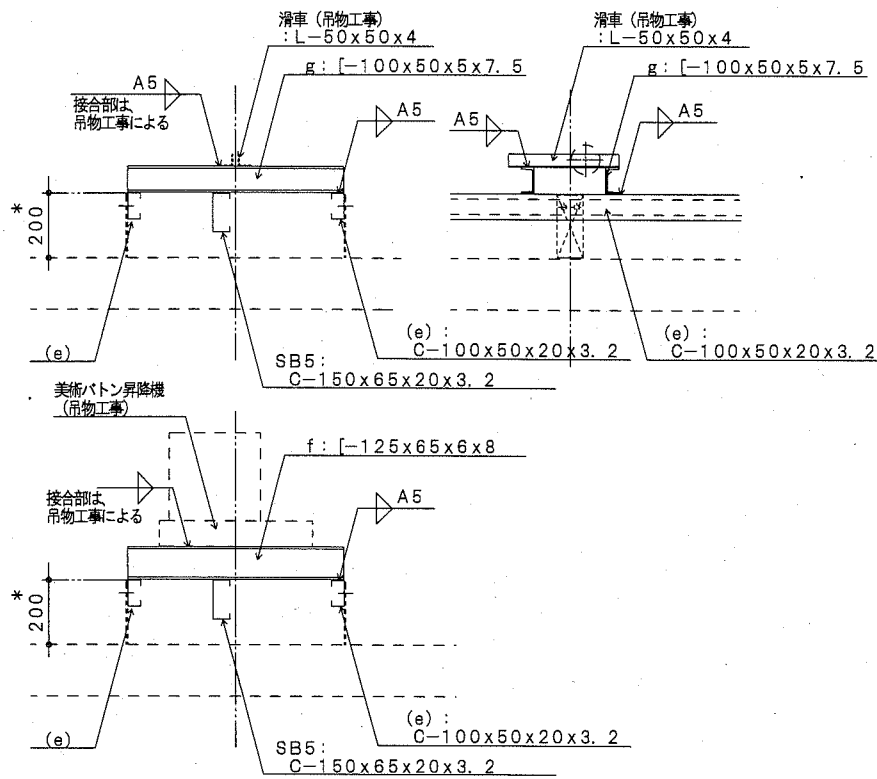
キャットウォーク伏図
S=1:150

*新設は「2・5通り側キャットウォーク」、「スピーカー設置部側キャットウォーク」及び「1通り側ブドウ棚」

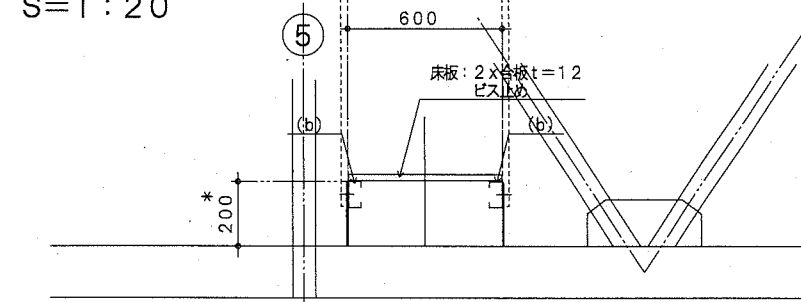
キャットウォーク手すり詳細図
S=1:20



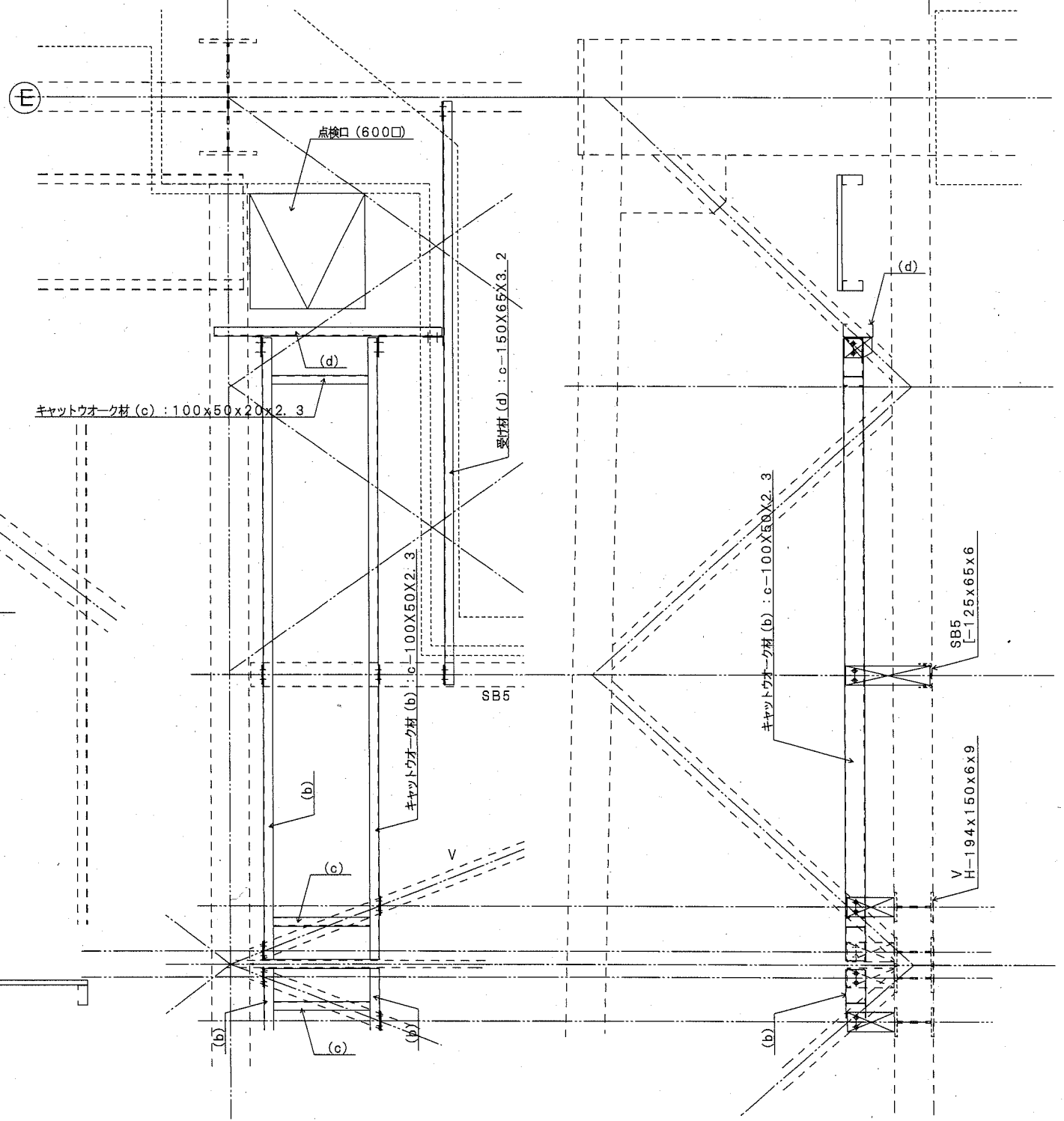
舞台機構装置及び受け材詳細図
S=1:20



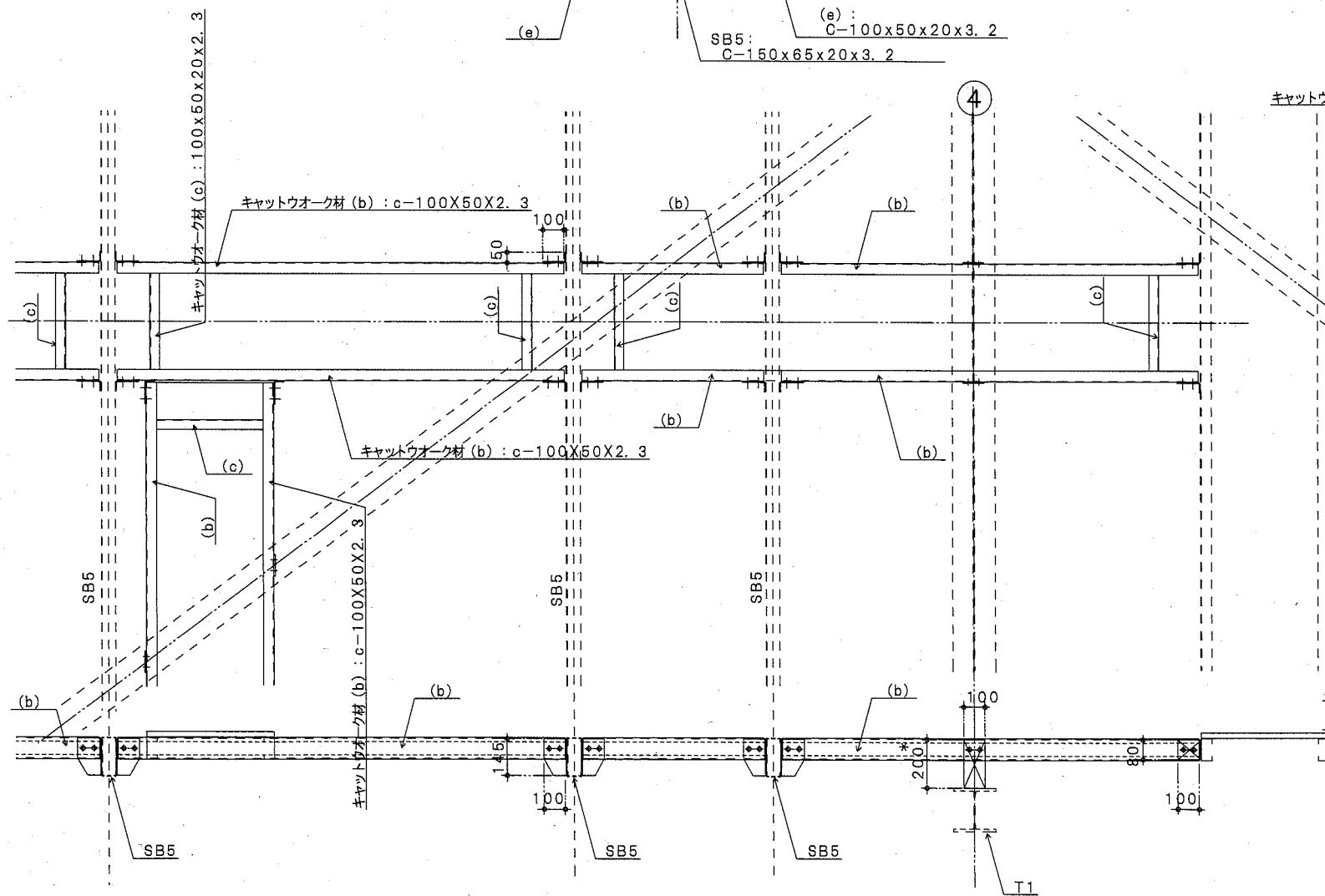
5通り側新設キャットウォーク鉄骨詳細図
S=1:20



5通り側新設キャットウォーク鉄骨詳細図
S=1:20



スピーカー廻りキャットウォーク鉄骨詳細図
S=1:20



公共建築課長 主査等 担当

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 令和2年12月

設計名称

西体育会館大体育室天井改修その他工事

図面名称

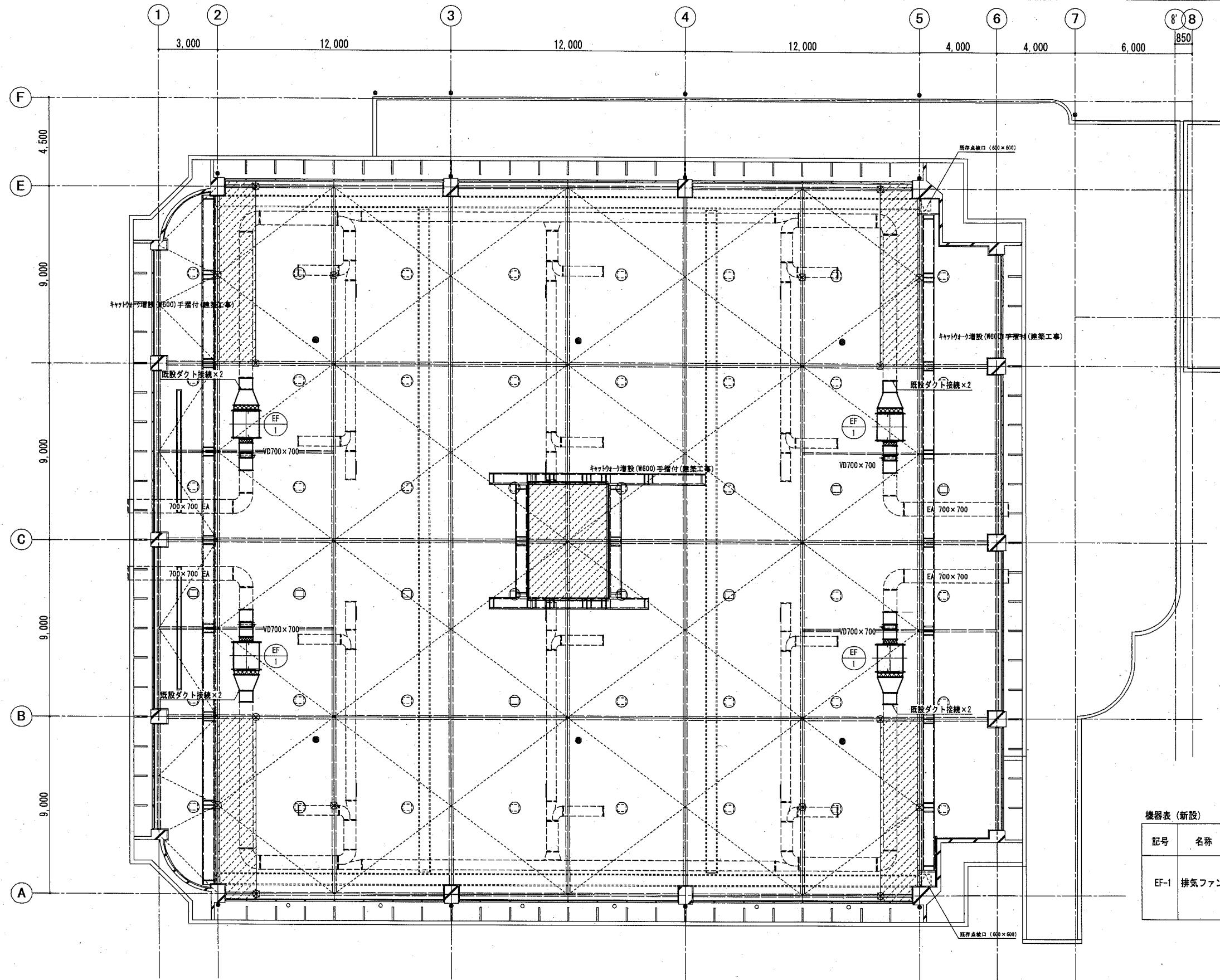
鉄骨詳細図

PROJECT NUMBER

DRAWING NUMBER

縮尺 1:20

S-03



大体育室ダクト平面図 (新設)

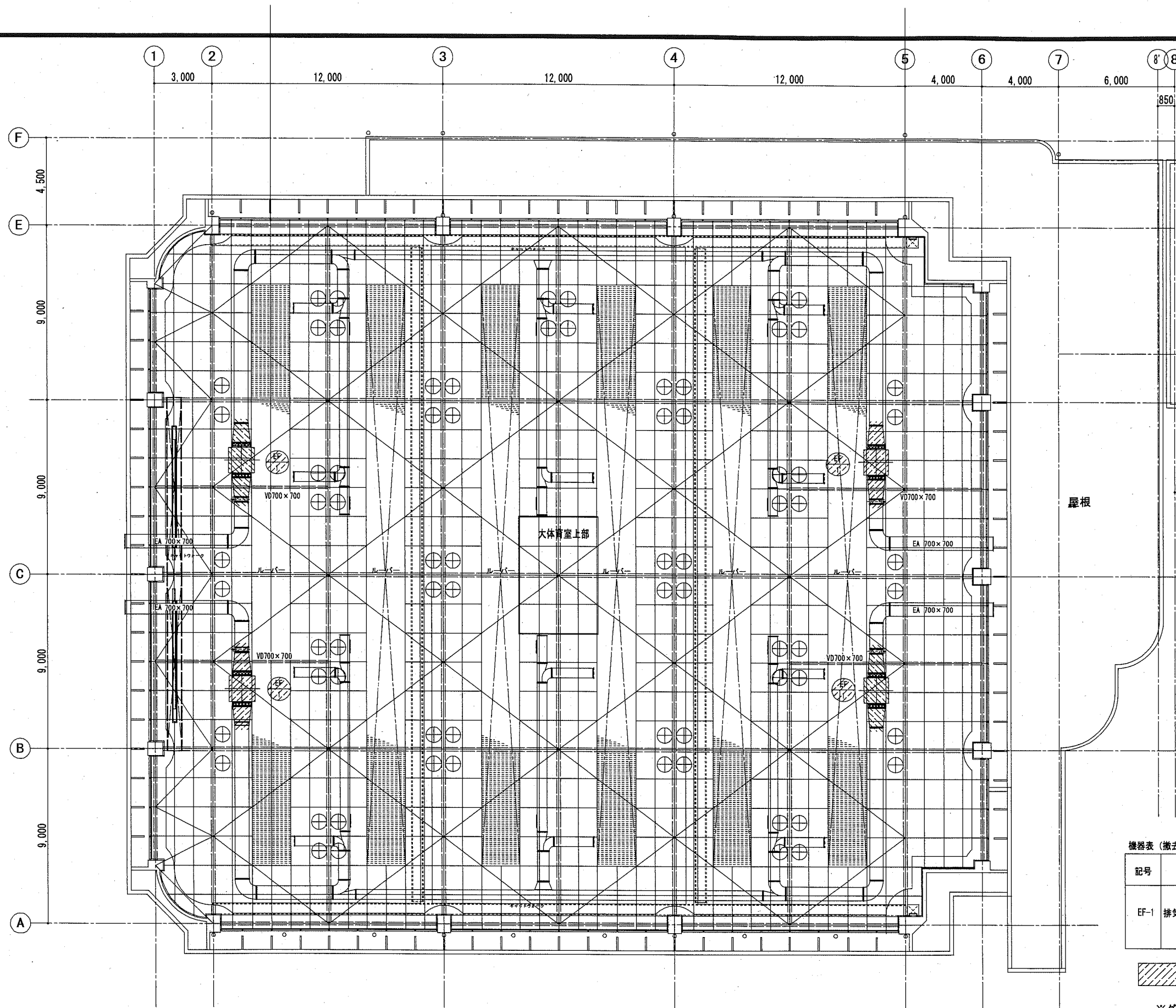
機器表 (新設)

記号	名称	仕様	電気容量	数量	設置位置	備考
EF-1	排気ファン	型式: 両吸込シロッコファン(床置き) 消音BOX付 能力: #3×12,000CMH×300Pa	3.7kw (3φ200V)	4	大体育室 (FL+10900)	

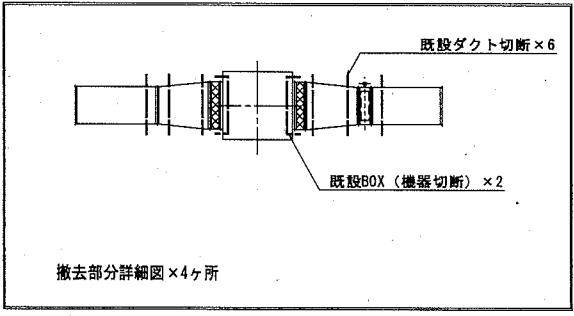
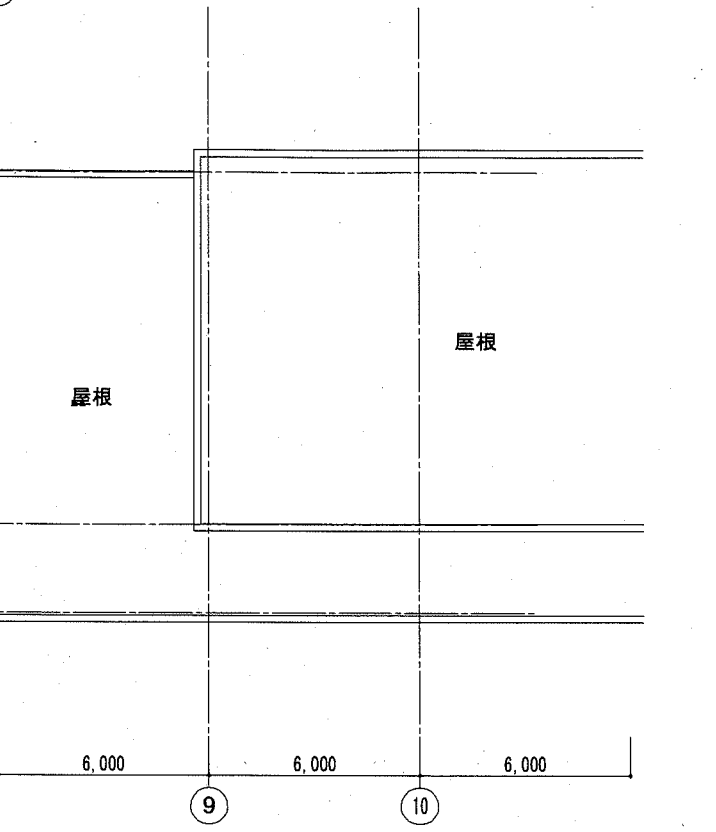
----- : 既存ダクト

※新設ダクトは垂鉛鉄板製で保温なしとする

▨ : メッシュ膜範囲を示す(建築工事)



大体育室ダクト平面図 (撤去)



撤去部分詳細図 x 4ヶ所

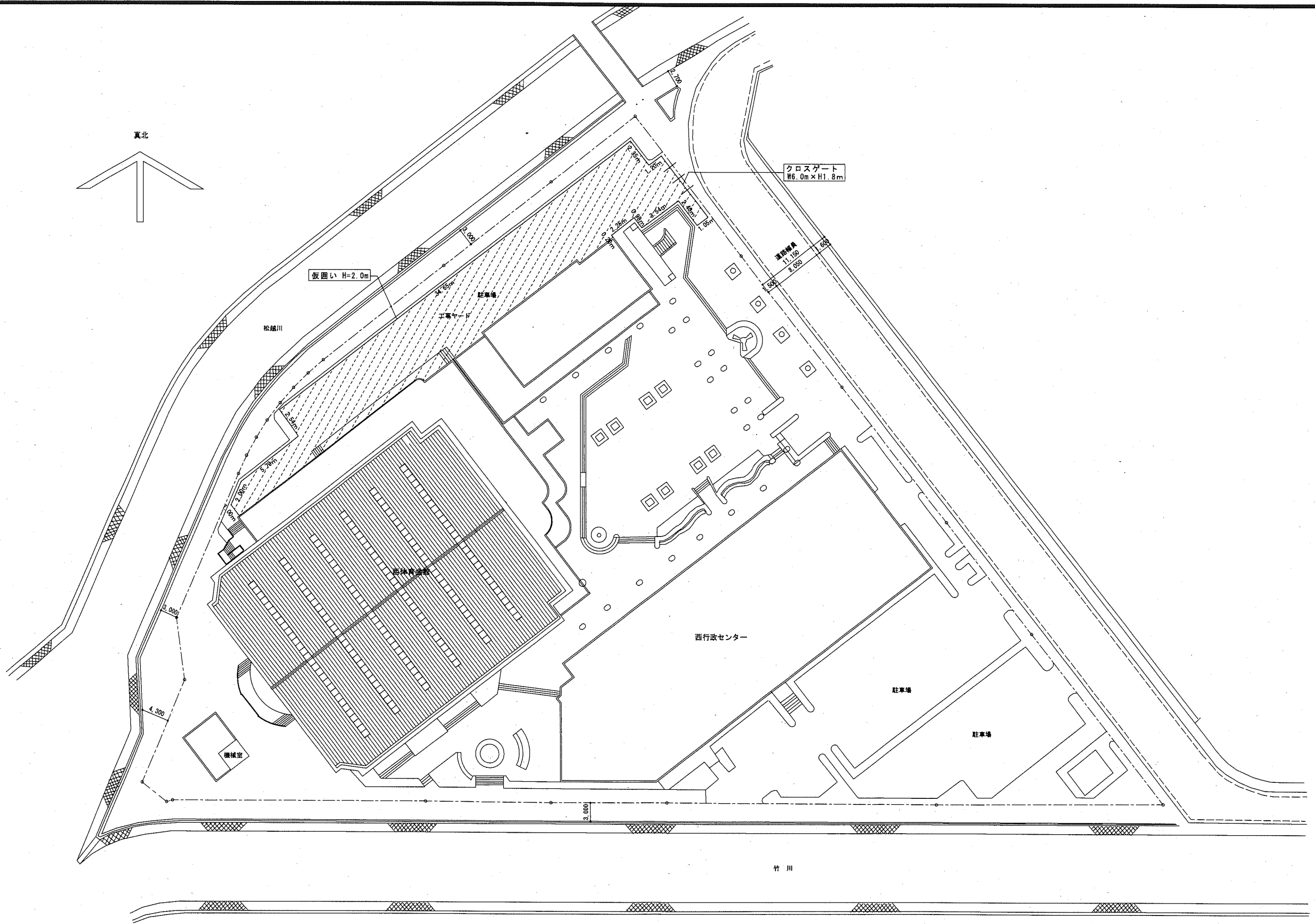
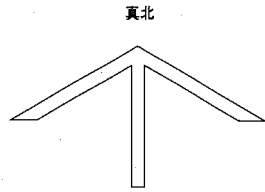
機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	電気容量	数量	設置位置	備考
EF-1	排気ファン	型式: 両吸込シロッコファン(床置き) 消音BOX付 能力: #3 x 12,000CMH x 30mmAq	3.7kw (3 φ 200V)	4	大体育室 (FL+10900)	

: 撤去

※ダクト類撤去に伴い、ダクトフランジ部のパッキン、たわみ接手にはアスベストが含まれている為、飛散しないようにポリエチレンフィルム3重巻きにし、対象部の両端をテープ2重巻きにし、両端(非アスベスト部)を切断し撤去、処分する事。

※搬入・搬出用に鋼材(H100 x 100 x 6 x 8 x 3500L)を屋根部梁上に仮設用として取り付ける(作業完了後撤去)

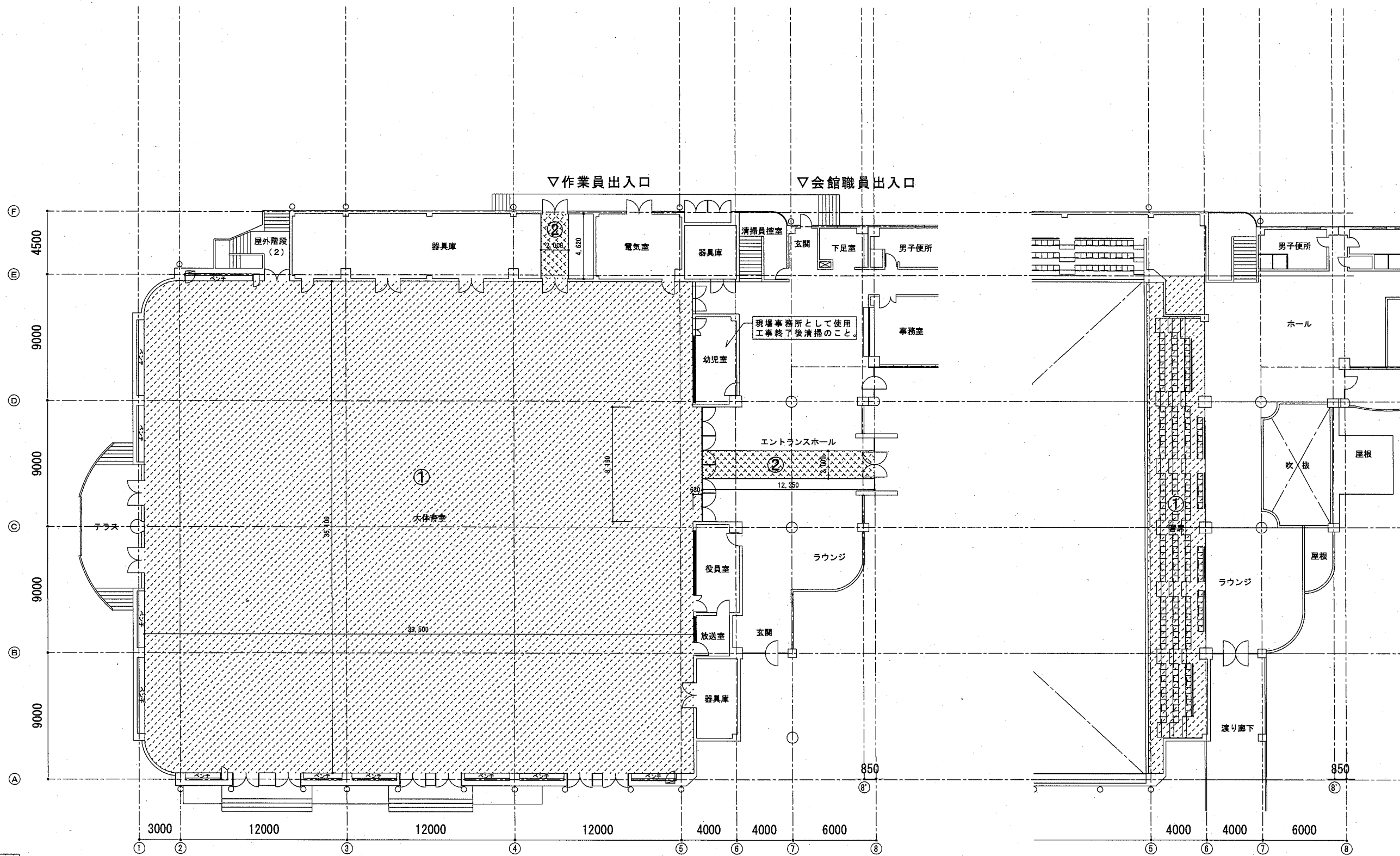


公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 令和 2 年 12 月

設計名称 NAME OF PROJECT	図面名称 ITEM OF DRAWING
西体育会館大体育室天井改修その他工事	外部仮設計画図(参考)
PROJECT NUMBER	DRAWING NUMBER
	縮尺 1 : 400 SCALE

K-01



① 床養生 (合板 t=12程度) 範囲を表す。
※ 枠組み足場あり

② 床養生範囲を表す。

1階平面図 S=1:200

2階平面図 S=1:200